

水道事業年報

—平成 27 年(2015)版—



給 水 車

出雲市上下水道局

目 次

I 水道事業の概要

概要表

1.水道事業の沿革	1
2.平成 26 年度（2014）の事業概要	5
3.平成 27 年度（2015）の事業計画	7
4.出雲市水道事業の推移	8
5.出雲市水道事業基本計画について	12
6.給水区域	15

II 施設の概要

1.水道施設フロー図	18
2.現有施設一覧表	24
3.配水管等の布設状況	49
4.消火栓設置数	50
5.簡易専用水道施設件数	50
6.主要施設所在地	51

III 業務の概要

1.薬品使用状況	52
2.主要施設電力使用状況	52
3.業務量の推移	53
4.出雲市給水戸数及び給水人口	55
5.水質試験結果	57
6.検針・収納状況	61
7.料金の変遷	63
8.加入金の変遷	70
9.口径別有収水量と給水収益	71
10.給水装置工事申請件数	72
11.水道施設修繕工事件数	72
12.指定給水装置工事事業者数	72

IV 財務の状況

1.平成 26 年度（2014）出雲市水道事業会計 決算書	73
2.出雲市水道事業会計 損益計算書	74
3.出雲市水道事業会計 貸借対照表	75
4.財務比率・経営比率	76
5.給水原価及び供給単価算出図（平成 26 年度決算）	82

V 簡易水道事業

1.平成 26 年度（2014）業務量	83
---------------------	----

VI 組 織

1.機構図	85
2.事務分掌	86
3.職員配置表	90
4.年齢別職員構成	90
5.勤続年数別職員構成	90

I 水道事業の概要

カラカラで
蛇口に飛び込む 僕の口

平成二十七年 度 第五十七回水道週間スローガン

概 要 表

平成26年度末（H27. 3. 31）現在

水 道 名		給 水 開始年月	計画給水 人 口 (人)	現 在 給水人口 (人)	計画一日 最大給水 量 (m ³)	平成26年度 給水実績	
						一日最大 (m ³)	年間総量 (m ³)
出 雲 水 道 事 業	出雲地域 平田地域 大社地域	S33. 4 S28. 2 S43. 5	* 133, 300	130, 926	* 60, 800	47, 945	15, 643, 051
乙 立 簡 易 水 道	出雲地域	H14. 11	900	662	366	283	58, 840
猪 目 簡 易 水 道	平田地域	S30. 4	400	72	60	28	3, 995
河 下 広 域 簡 易 水 道	〃	S58. 4	3, 550	2, 154	1, 201	1, 108	258, 967
塩 津 簡 易 水 道	〃	S36. 2	300	162	100	45	11, 721
美 保 簡 易 水 道	〃	S35. 2	177	95	56	42	8, 775
島 村 簡 易 水 道	〃	S42. 10	406	365	134	151	33, 694
東 部 統 合 簡 易 水 道	〃	S36. 9 (旧一畑簡 水開始)	1, 870	1, 573	825	552	158, 727
須 佐 簡 易 水 道	佐田地域	S34. 3	2, 050	1, 780	995	857	223, 311
窪 田 簡 易 水 道	〃	S48. 5	2, 400	1, 735	920	626	189, 312
多 伎 簡 易 水 道	多伎地域	S30. 1	4, 460	3, 671	2, 719	1, 796	531, 350
日 御 碕 簡 易 水 道	大社地域	S29. 4	840	615	582	371	82, 928
鷺 浦 簡 易 水 道	〃	S33. 4	1, 300	233	270	168	27, 878
阿 宮 簡 易 水 道	斐川地域	S57. 4	720	514	144	260	47, 455
簡 易 水 道 事 業 合 計			19, 373	13, 631	8, 372		1, 636, 953
多久谷畑飲料水供給施設	平田地域	H15. 3	26	29	7	7	1, 421
水 道 事 業 合 計				144, 586			17, 281, 425

* 出雲水道事業の計画給水人口及び計画1日最大給水量は一部の簡易水道事業の統合に伴う給水区域拡張後のものである。

1. 水道事業の沿革

※出雲地域（平成18年度まで）

上水道事業の発足 昭和33年4月に今市水道(株)から出雲市へ移管

第1次拡張事業 昭和33年4月～昭和37年3月（総事業費 161,863 千円）

給水人口 31,500 人・一日最大配水量 11,500 m³の計画

七面山に配水池を新設（2,000 m³）

神門・長浜・川跡・高浜の簡易水道を統合（S40）

第2次拡張事業 昭和40年4月～昭和43年3月（総事業費 217,641 千円）

給水人口 50,000 人・一日最大配水量 18,250 m³の計画

高松・古志・神西・外園・鳶巣・朝山の一部を給水区域に加える

七面山に配水池2基（1,000 m³×2）を増設（S42）

妙見山配水池を築造（S43）

大社町へ分水開始（S42）

第3次拡張事業 昭和45年4月～昭和56年3月（総事業費 1,523,322 千円）

給水人口 68,000 人・一日最大配水量 40,000 m³の計画

向山配水池（10,000 m³）を築造（S48）し、配水系統を七面山系統と

向山系統に二分

湖陵町へ分水開始（S47）

第4次拡張事業 昭和54年3月～平成8年3月（総事業費 4,709,249 千円）

給水人口 90,200 人・一日最大配水量 60,000 m³の計画

上島水源地の建設（日量 30,000 m³を取水）

上津及び稗原地区簡易水道を統合し、給水区域に加える（S63）

所原町、見々久町（H4給水開始）

上新宮地区（H9給水開始）

第5次拡張事業 平成9年4月～平成19年3月（総事業費 9,020,400 千円）

給水人口 99,200 人・一日最大配水量 55,500 m³の計画

水需要の増加に対応する施設及び水压不足の解消

新向山配水池の築造・送配水管整備（H17）

北山配水池、ポンプ場、上津、稗原配水区域の整備ほか

給水水質の向上（赤水、クリプトスポリジウム対策）

来原浄水施設の築造（H13～18）

石綿セメント管の布設替え

※平田地域（平成18年度まで）

水道事業の発足	昭和28年2月19日 計画給水人口 10,000 人 一日最大給水量 1,400 m ³ （総事業費 54,500 千円） 平田町の市街地、灘分町の一部を給水地域
第1次拡張事業	昭和31年11月23日 計画給水人口 16,000 人 一日最大給水量 2,400 m ³ （総事業費 85,600 千円） 平田市、平坦部全域東西 10 kmにわたる配水管の拡張、愛宕山配水池、布崎配水池、国富配水池の新設、緩速ろ過池2池新設、水源地の整備
第2次拡張事業	昭和37年12月28日 計画給水人口 20,000 人 一日最大給水量 3,600 m ³ （総事業費 22,051 千円） 第2水源新設、緩速ろ過池2池及び浄水池1池増設、送配水管拡張
第3次拡張事業	昭和48年2月28日 計画給水人口 20,000 人 一日最大給水量 6,800 m ³ （総事業費 434,841 千円） 第3水源新設、第4水源（美談）新設、浄水施設の改良（急速ろ過機等）、送配水管拡張、愛宕山配水池（2,500 m ³ ）新設
第4次拡張事業	昭和52年11月18日 計画給水人口 24,000 人 一日最大給水量 8,400 m ³ （総事業費 218,900 千円） 美野簡易水道を上水道に統合、既設水源井の改良による取水量増設
第5次拡張事業	平成2年12月20日（事業年度 平成2年度から平成5年度） 計画給水人口 24,700 人 一日最大給水量 10,000 m ³ （総事業費 758,000 千円） 金山水源新設（1,000 m ³ ）、灘分水源改良（7,900 m ³ ）、第4水源（美談）改良（600 m ³ ）
灘分浄水場改良	平成12年度～16年度（老朽施設の改修・水源別浄水方法の変更） 総事業費 1,654,000 千円

※大社地域（平成18年度まで）

水道事業の発足	昭和42年3月31日事業創設認可 昭和43年5月1日 出雲市から分水し、遙堪簡易水道事業により給水開始 その後、荒木簡易水道事業により給水開始
上水道事業の発足	昭和55年度 大社町上水道事業基本計画を策定 昭和56年4月1日 上水道事業発足 計画給水人口 16,690人 1日最大配水量 7,425 m ³ 未給水区域だった杵築、遙堪、荒木地区の3地区を給水区域に
事業概要・経緯	昭和56年度～昭和57年度 浜受水場や浜山配水池（V＝3,300 m ³ ）等の主要施設整備を実施 配水管布設整備を年次計画により進め、昭和57年度は神門通周辺を中心に整備。 くにびき国体開催時には宿泊施設のある地区の給水が可能となった。 昭和59年度 湊原地区に宍道湖西部浄化センターが建設されることになったため、その周辺環境整備事業の一環として、県事業で湊原、大梶、四軒屋、川方西・南の一部に配水管を布設した。 昭和63年度 菱根の一部に配水管を布設し、高浜川より南側は浜山水系へ 平成元年度 遙堪地区山手の4箇所に増圧ポンプ施設を設置し、残る遙堪水系を浜山水系に一本化 その後、投資の効率化を図り下水道の污水管布設と同時に実施 また、平成6年度から年次計画により上水道未普及地域の解消を図った。

第6次拡張事業（平成19年度以降上水道事業全域）

平成19年度	来原浄水場（自家発電設備設置）、平田地域石綿管更新（～H20）、 県受水関連管路整備（～H22）
平成20年度	山廻制御弁室築造
平成21年度	新向山系配水本管整備（～国道9号バイパス）（～H23） 鷹の沢制御弁室築造 灘分浄水場自家発電設備設置 上津浄水場整備（紫外線）（～H23）
平成22年度	来原調整池耐震化 県受水関連施設整備（本郷配水池・伊野配水池） 水道未普及地域解消事業着手 大社中山地区（～H25）、平田鹿園寺地区（～H23）
平成23年度	島根県水道用水供給事業からの受水開始（H23.4.1） 地合簡易水道の上水統合（H23.4.1） 金山水源地硬度処理設備設置 水道未普及地域解消事業着手 平田苅藻谷地区（～H25）
平成24年度	湖陵・差海簡易水道の上水統合（H24.4.1） 上島水源地 第7取水井増設 水道未普及地域解消事業給水開始 平田鹿園寺地区
平成25年度	妙見山配水池に緊急遮断弁設置
平成26年度	大社中山地区、平田苅藻谷地区給水開始 簡易水道統合に向けた水道事業変更認可申請の提出と管路更新計画の策定

2. 平成26年度(2014)の事業概要

(はじめに)

平成26年度は、行政区域内戸数・人口の微増に伴い、給水戸数・人口も若干の増加となりましたが、11年ぶりの冷夏の影響や大口需要者の節水意識の向上などから年間総有収水量が対前年98%となり、水道料金収入(消費税抜)が大きく減額となりました。

一方で今年度の決算から新会計制度により表示されるため、収益、費用、純利益とも前年度より大きく増額となりました。注視すべき点として、水道料金収入の減やみなし償却制度の廃止による減価償却費の増等の影響によって、供給単価(159.89円)より給水原価(169.50円)が高くなることとなりました。この結果を踏まえ収納対策、管理経費節減の強化等、長期的視点に立って水道事業経営の適正化に努めてまいります。なお、将来負担の更なる軽減を図るため過去3年に渡る11億円余りの繰上償還に加え、今年度は175,399千円の繰上償還を行いました。

建設事業では、前年度に引き続き第6次拡張改良事業として新向山配水系の基幹管路の整備、老朽管の更新や耐震化事業など、安定的に給水を行うための事業を実施しました。

(業務の状況)

給水戸数及び人口は、給水戸数47,624戸、給水人口130,926人となり、給水区域内人口に対する普及率は98.8%となりました。

年間総配水量は15,643,051 m^3 、年間総有収水量は14,285,173 m^3 となり、有収率は91.3%でした。

(経営の状況)

収益的収入及び支出(消費税抜)については、事業収益は2,831,974千円、事業費用は2,545,156千円となり、収入支出差引で286,817千円余の純利益が生じました。

収益については、水道料金収入や加入金が減額となる一方で、会計制度の改正による資産の減価償却と伴に、補助金等に相当する額を毎事業年度ごとに収益勘定の中で収益化される長期前受金戻入額の計上を主な理由として大きく増額となりました。

費用についても会計制度の改正により、みなし償却制度の廃止に伴う減価償却費、貸倒引当金、退職給付引当金及び賞与引当金の計上に加え、出雲市水道事業変更認可申請書及び管路更新計画作成業務、湖陵・差海配水池耐震調査委託料等の特殊要因や繰上償還に伴う補償金の増により大幅に増額となりました。

純利益も前年度より大きく増額となっておりますが、先に述べた会計制度の改正による影響が大きく、前会計制度で比較すると有収水量の減少による水道料金や加入金の減等の

収入の減や委託料及び補償金等による支出の増で前年度より減額となりました。

資本的収入及び支出（消費税込）については、収入は 353,360 千円、支出は 1,735,054 千円となりました。なお、資本的収入及び支出の差引不足額 1,381,694 千円については、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定内部留保資金及び減債積立金で補填することとしました。

（第 6 次拡張・改良事業）

主な事業は、新向山配水系配水本管整備事業、平田地域農道配水管整備事業、来原浄水場施設耐震化事業のほか、老朽管更新工事などを 688,347 千円で実施しました。また、翌年度への繰り越しとして、中山配水池排水管敷設工事 1 件 5,400 千円を建設改良繰越、大社町北荒木地区上北南一区総合センター付近配水管布設工事など 4 件 99,464 千円を事故繰越しとしました。

（一般拡張・改良事業）

主な事業は、配水管の拡張・改良事業であり、道路や下水道事業など公共事業に関連する配水管等の布設替及び消火栓の設置工事等を 268,961 千円で実施しました。また、公共工事関連外として、建設改良繰越 4 件 21,261 千円、事故繰越 6 件 54,468 千円を翌年度に繰り越しました。

（保存工事）

前記の第 6 次拡張・改良事業及び一般拡張・改良事業に関連して行った給水管の切替工事等を 129,598 千円、日常の小規模配水施設修繕等に 121,750 千円並びに水源施設修繕を 15,616 千円で実施しました。

（むすび）

市民のみなさまに安心、安全な水道水を安定かつ可能な限り安価に供給することを使命とし、今後も老朽施設の更新や基幹管路の整備などを計画的に実施していくとともに、今後予定している簡易水道の統合に向けて、管理経費の縮減に努めてまいります。

また、将来人口の縮小と節水意識の浸透が見込まれることから、水需要が減少する厳しい財政状況が予想され、今後さらに増大する老朽施設の維持更新経費や簡易水道事業の統合などの課題に的確に対応できるよう、料金改定の検討を含めより一層の経営基盤強化を図っていきたいと考えております。

3. 平成 27 年度(2015)の事業計画

(1) 業務予定量 (当初予算書 第 2 条)

・ 総 配 水 量	15,340,000 m ³
・ 一日平均配水量	42,027 m ³
・ 一日最大配水量	48,331 m ³
・ 給 水 戸 数	47,100 戸
・ 給 水 人 口	130,300 人
・ 建 設 改 良	
総 事 業 費	1,128,894 千円
事 業 内 容	第 6 次拡張改良事業並びに一般拡張改良事業

(2) 建設改良事業の主な内容

第 6 次拡張改良事業	新向山系配水本管整備事業
	平田地域農道配水管系配水管整備事業
	老朽管更新事業
	施設耐震化対策事業 (来原)

(3) 予算 (当初) 概要

収益的收入及び支出	事業収益	2,979,939 千円
	事業費用	2,663,133 千円
資本的收入及び支出	資本的收入	276,859 千円
	資本的支出	1,539,063 千円
	不 足	1,262,204 千円
資本的収支不足額の補填財源	当年度分損益勘定内部留保資金	854,534 千円
	過年度分損益勘定内部留保資金	37,425 千円
	当年度分消費税資本的収支調整額	74,015 千円
	減債積立金	16,195 千円
	建設改良積立金	280,035 千円

(4) 職員体制 上水道 39 名 (平成 27 年 (2015) 4 月 1 日現在)

4. 出雲市水道事業の推移

拡張事業の概要(事業認可)

事業名 認可項目		第1次拡張事業 (買収)	第2次拡張事業	第3次拡張事業
年 月 日		昭和32年12月12日	昭和39年12月28日	昭和45年1月10日
計 画	給 水 人 口	31,500人	50,000人	68,000人
	1 日 最 大 給 水 量	11,500m ³	18,250m ³	40,000m ³
	1 人 1 日 最 大 給 水 量	365ℓ	365ℓ	590ℓ
着 工 年 月 日		昭和33年4月1日	昭和40年4月1日	昭和45年4月1日
竣 工 年 月 日		昭和37年3月31日	昭和43年3月31日	昭和56年3月31日
事 業 費		161,863千円	217,641千円	1,523,322千円
主 要 施 設		※今市水道株式会社買収 ※取水施設 取水井φ5,000×2井 導水管φ300 488m ※送水施設 ポンプ 5台 送水管φ350 1,406m ※配水施設 配水池1,000m ³ ×2池 配水管φ100～φ400 25,248m	※取水施設 取水井φ5,000×2井 導水管φ300～φ500 592m ※送水施設 ポンプ 5台 送水管φ350 1,409m ※配水施設 配水池1,000m ³ ×2池 (P C) 487m ³ ×1池 配水管φ100～φ350 43,909m	※取水施設 取水井(満州井戸) φ5,000×3井 ポンプ井φ5,000×1井 導水管φ300～φ800 621m 深井戸φ750×2井 取水ポンプ 2台 ※浄水施設 急速濾過装置 1式 接触槽 1式 沈殿池 1池 ※送水施設 ポンプ 3台 自動制御装置 1式 電気設備 1式 送水管φ500 1,525m ※配水施設 配水池10,000m ³ ×1池 (P C) 486m ³ ×1池 配水管φ100～φ700 85,434m 減圧調整弁 1式 テレメーターテレコン 装置 1式

第4次拡張事業	第4次拡張事業 (1回目変更)	第4次拡張事業 (2回目変更)
昭和53年12月15日	昭和63年(1988)3月31日	平成元年(1989)3月31日
90,200人	88,500人	89,900人
60,000m ³	54,000m ³	54,500m ³
665ℓ	610ℓ	606ℓ
昭和54年3月31日	平成元年(1989)4月	平成元年(1989)4月
平成2年3月31日	平成13年(2001)3月	平成13年(2001)3月
4,709,249千円	351,688千円	954,528千円
※取水施設 取水井φ750×5井 取水ポンプ 5台 ポンプ井 1井 導水管φ600 6,914m 水管橋工事 1式 トンネル工事 1式 ※浄水施設 塩素滅菌設備 1式 ※送水施設 ポンプ 2台 送水管φ500 54m 電気計装設備 1式 自家発電設備 1式 ※配水施設 集中管理制御装置 1式 管理棟 1棟 水源地構内設備 1式 配水管φ100～φ600 49,454m ※用地取得 44,742m ²	※配水施設 下新宮増圧ポンプ場 1式 上新宮増圧ポンプ場 1式 麻床増圧ポンプ場 1式 上組増圧ポンプ場 1式 麻床調整池 1池 配水管布設 5,269.6m ※石綿管改良 11,182m ※送水施設 送水ポンプ 上津 2台 宇那手 2台 岩倉 2台 ※配水施設 岩倉 1池 奥井谷 1池 大平 1池 ※配水管φ100～φ300 19,226m ※旧簡易水道地区配水管布設 φ100、150、200 7,647m	※送水施設 朝山ポンプ所築造 1式 堂原ポンプ所築造 1式 御方ポンプ所築造 1式 電気計装 1式 送水管φ75～φ100 1,917.8m ※配水施設 朝山配水池築造 2池 堂原配水池築造 2池 御方配水池築造 2池 大月、須原、畑ポンプ所 施設築造 配水管布設φ25～φ150 31,058.3m

第 5 次拡張事業		第 5 次拡張事業 (1 回目変更)	第 5 次拡張事業 (2 回目変更)
平成13年(2001) 1 月19日		平成13年(2001)12月 7 日	平成15年(2003) 3 月31日
99, 200人		99, 200人	99, 200人
55, 500m ³		55, 500m ³	55, 500m ³
5590		5590	5590
平成13年(2001) 4 月 1 日		平成14年(2002) 4 月 1 日	平成15年(2003) 4 月 1 日
平成19年(2007) 3 月31日		平成19年(2007) 3 月31日	平成19年(2007) 3 月31日
9, 167, 600千円		10, 053, 000千円	9, 380, 000千円
※取水施設(上島)	※送水施設	※飲料水供給施設	※飲料水供給施設
取水井 φ 1, 000 × 2 井	送水ポンプ 9 台	(天王山地区)	(畑地区)
取水井管 φ 200 ～ φ 300	送水管 φ 500 2, 120m	天王山ポンプ所 1 式	畑加圧ポンプ所 1 式
1, 100m	※配水施設	天王山加圧ポンプ所 1 式	配水管 φ 25 ～ φ 50
取水ポンプ 2 台	配水池	送・配水管 φ 25 ～ φ 75	1, 576. 0m
※導水施設	新向山 2 池	715. 5m	
導水ポンプ	北山 2 池	(三坂地区)	
来原 11台	奥井谷 1 池	三坂第 1 加圧ポンプ所	
上島 3 台	太平 1 池	1 式	
導水管 φ 200 ～ φ 600	配水管布設 φ 75 ～ φ 700	三坂第 2 加圧ポンプ所	
※浄水施設(来原)	23, 751m	1 式	
浄水处理施設	※その他	配水管 φ 25 ～ φ 75	
着水井、急速攪拌池	流量計、緊急遮断弁	3, 100. 5m	
急速ろ過池 1 池	緊急貯留槽		
浄水池 1 池	※用地取得 8, 602m ²		
電気計装 1 式			
排水処理施設			
排水池 1 池			
天日乾燥床 6 池			
管理棟 1 棟			

第5次拡張事業 (3回目変更)	第6次拡張事業
平成17年(2005)3月14日	平成21年(2009)4月1日
140,590人	133,300人
68,365m ³	60,800m ³
486ℓ	456ℓ
平成17年(2005)3月22日	平成21年(2009)4月1日
平成19年(2007)3月31日	平成31年(2019)3月31日
6,424,000千円	7,850,000千円
水道事業の統合 (平田市水道事業、大社町 水道事業)	1. 上津浄水場の浄水方法 の変更 紫外線処理施設の新設 2. 県からの受水に伴う水 源種別の変更等 平田地域 檜山、東、伊野 久多見町、野石谷町 上岡田町、多久町 多久谷町 3. 未普及地域の解消 平田地域 鹿園寺地区、苅藻谷地区 大社地域 中山地区 4. 簡易水道事業の統合に 伴う給水区域の拡張 湖陵簡易水道、差海簡 易水道、地合簡易水道、 (以上、3簡水は完了) 河下広域簡易水道

5. 出雲市水道事業基本計画について

国の簡易水道の補助制度が平成 19 年度から見直しされたことなどに伴い、事業計画の一部を変更する必要が生じ、見直しを行った。

【1】計画の考え方

平成 17 年 3 月 22 日に出雲地区 2 市 4 町（出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町）の新市合併に伴い、出雲市水道事業も旧平田市、旧大社町が経営していた上水道事業を統合し、事業計画の一元化を図り、一つの水道事業としてスタートした。

そこで、平成 18 年度に上水道が抱える問題点等を整理し、将来の施設整備の目標となる「出雲市水道事業基本計画（以下「前計画」という）を策定したが、その後水道事業において水質面では化学物質の多様化や病原性微生物への対応、安全面では地震、渇水、水害、テロ、新型インフルエンザ等の多様な災害への対応、事業経営面では広域的管理による効率化、環境面では省エネルギー化の促進などの施策の強化が求められてきた。

出雲市水道事業においても、「簡易水道事業の上水道事業への統合」、「少子高齢化等の影響による人口動態及び水需要の変化（減少傾向への変化）」、「クリプトスポリジウム対策としての紫外線照射処理の活用」、「未普及地区解消の促進」などの対策が必要となった。

これらへの取り組みを実現するため、「出雲市水道ビジョン」の策定にあわせて、平成 20 年度に基本計画の見直しをおこなった。

目指すべき基本方針

良質でおいしい水の供給(安心・安全)

〈具体的目標〉

- ①水源の確保
- ②浄水水質の改善
- ③水質監視体制の強化
- ④直結給水の促進

いつでも使える水の供給(安定)

〈具体的目標〉

- ①緊急時対策
- ②老朽施設の更新
- ③貯水能力の向上
- ④配水システムの向上
- ⑤テロ対策(監視体制の強化)
- ⑥石綿管の更新
- ⑦運転制御・監視の充実
- ⑧未普及地域の解消

環境への配慮(環境)

〈具体的目標〉

- ①省エネルギー化

維持管理水準の向上(管理)

〈具体的目標〉

- ①適正水圧の確保
- ②配水管管理のレベルアップ

【基本的事項】

(1) 計画年度

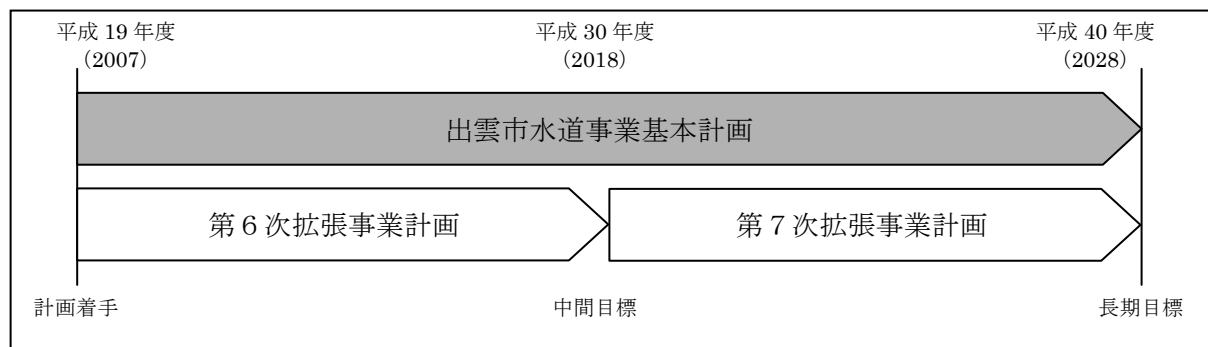
長期的視野にたって事業計画を策定する。

「出雲市水道事業基本計画」の策定期間は、平成 19 年度（2007）から平成 40 年度（2028）までとする。

長期目標年度……平成 40 年度（2028）

中期目標年度……平成 30 年度（2018）

【基本計画フロー】



(2) 計画給水人口、計画給水量

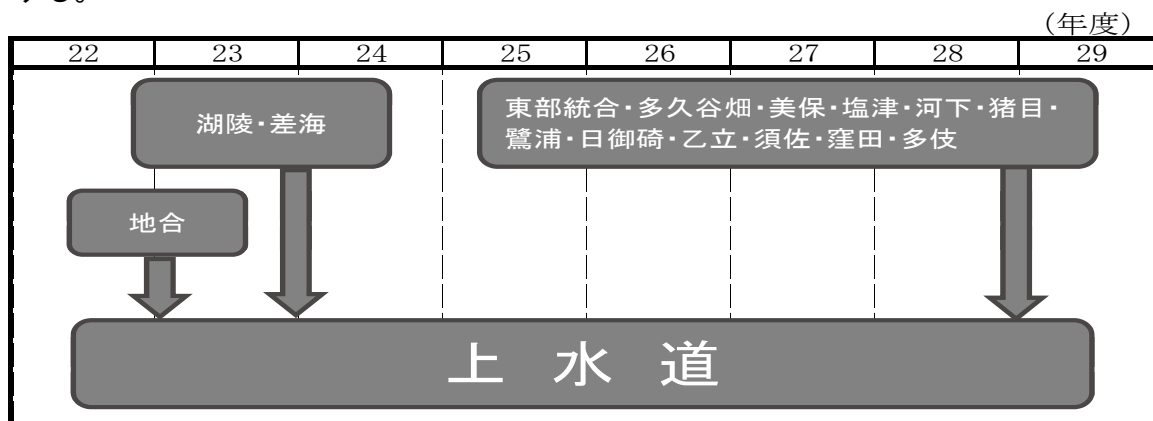
- ・人口は「コーホート要因法」で推計した。
 - ・給水量は生活原単位※と給水人口を基に算出し、工場、業務用の推定水量を加算して決定した。
- （※生活原単位とは生活(家事)用に使用される、1人1日当たりの使用水量）

第6次拡張事業（基本計画）（目標年度：平成 30 年度）

①計画給水人口 143,700 人

②計画給水量 65,600 m³/日

(3) 平成 28 年度末までには、出雲市内の簡易水道事業を上水道事業に統合し、経営を一元化する。



(4) 旧平田市が計画していた県水道用水の受水は、平成 23 年度から順次開始

【2】事業内容について

第6次拡張事業の主な事業内容

政 策 目 標		具体的目標	事 業 内 容
1. 安心・安全	良質でおいしい水の供給	①水源の確保	・ 県水道用水供給事業からの受水
			・ 上島取水井の築造
			・ 上津、来原取水井の更新
		②浄水水質の改善	・ 上津浄水処理施設の新設
		③水質監視体制の強化	・ 無人浄水場の原水水質の監視 (パイオアッセイ)
		④直結給水の促進	・ 水圧の確保 (幹線配水管整備による減圧解除)
2. 安定	いつでも使える水の供給	①緊急時対策	・ 施設の耐震化対策
			・ 停電時対策(灘分浄水場・パークタウン)
			・ 応急給水設備の設置(向山配水池、愛宕山配水池、浜山配水池)
			・ 緊急遮断弁の設置(七面山配水池、妙見山配水池、新向山配水池)
		②老朽施設の更新	・ 老朽管路の更新
			・ 老朽構造物の更新
		③貯水能力の向上	・ 配水池の増設(新向山配水池)
		④配水システムの向上	・ 幹線管路の二条化及び配水区域のブロック化
			・ 県受水のための施設整備
			・ 低水圧地区の解消(向山高台地区)
		⑤テロ対策 (監視体制の強化)	・ 監視機器の設置(灘分浄水場に人感センサー・監視カメラ設置)
			・ 基幹施設のフェンス改修
		⑥運転制御・監視の充実	・ テレコン／テレメーターの整備
			・ 中央制御・監視設備の改造
		⑦未普及地域の解消	・ 鹿園寺地区、苅藻谷地区等の水道整備 (平田地域)
			・ 中山地区の水道整備(大社地域)
3. 環境	環境への配慮	①省エネルギー化	・ 小規模ポンプ所等の統廃合 (平田地域・大社地域)
			・ 省エネルギー型設備の導入
4. 管理	維持管理水準の向上	①適正水圧の確保	・ 高水圧対策(朝山地区・稗原地区)
		②配水管管理のレベルアップ	・ 配水管の再整備(稗原地区・大社地域)

6. 給水区域(平成 27 年 3 月 31 日現在)

出雲地域

今市町、今市町北本町、今市町南本町、駅北町、駅南町 1 ～ 3 丁目、
大津町の一部、大津新崎町、大津朝倉 1 ～ 3 丁目、枝大津町、上塩冶町の一部、塩冶町、
天神町、塩冶有原町、塩冶町南町 1 ～ 5 丁目、塩冶神前 1 ～ 6 丁目、医大南町 1 ～ 3 丁目、
塩冶原町 1 ～ 3 丁目、塩冶善行町、築山新町、古志町の一部、高松町、白枝町、松寄下町、
下横町、浜町、矢野町、姫原町、姫原 1 ～ 4 丁目、小山町、大塚町、渡橋町、矢尾町の一部、
日下町の一部、里方町、平野町、常松町、八島町、江田町、武志町、中野町、中野美保南 1 ～
3 丁目、中野美保北 1 ～ 3 丁目、荻杼町、稲岡町、高岡町、東林木町の一部、西林木町の一部、
上島町の一部、船津町の一部、西谷町、稗原町の一部、野尻町の一部、宇那手町の一部、
朝山町の一部、馬木町の一部、馬木北町、所原町の一部、見々久町の一部、下古志町、
芦渡町の一部、神門町、知井宮町の一部、西新町 1 ～ 3 丁目、東神西町の一部、西神西町の一部、
神西沖町、大島町、神西新町、荒茅町、東園町、西園町、外園町、長浜町、平成町

平田地域

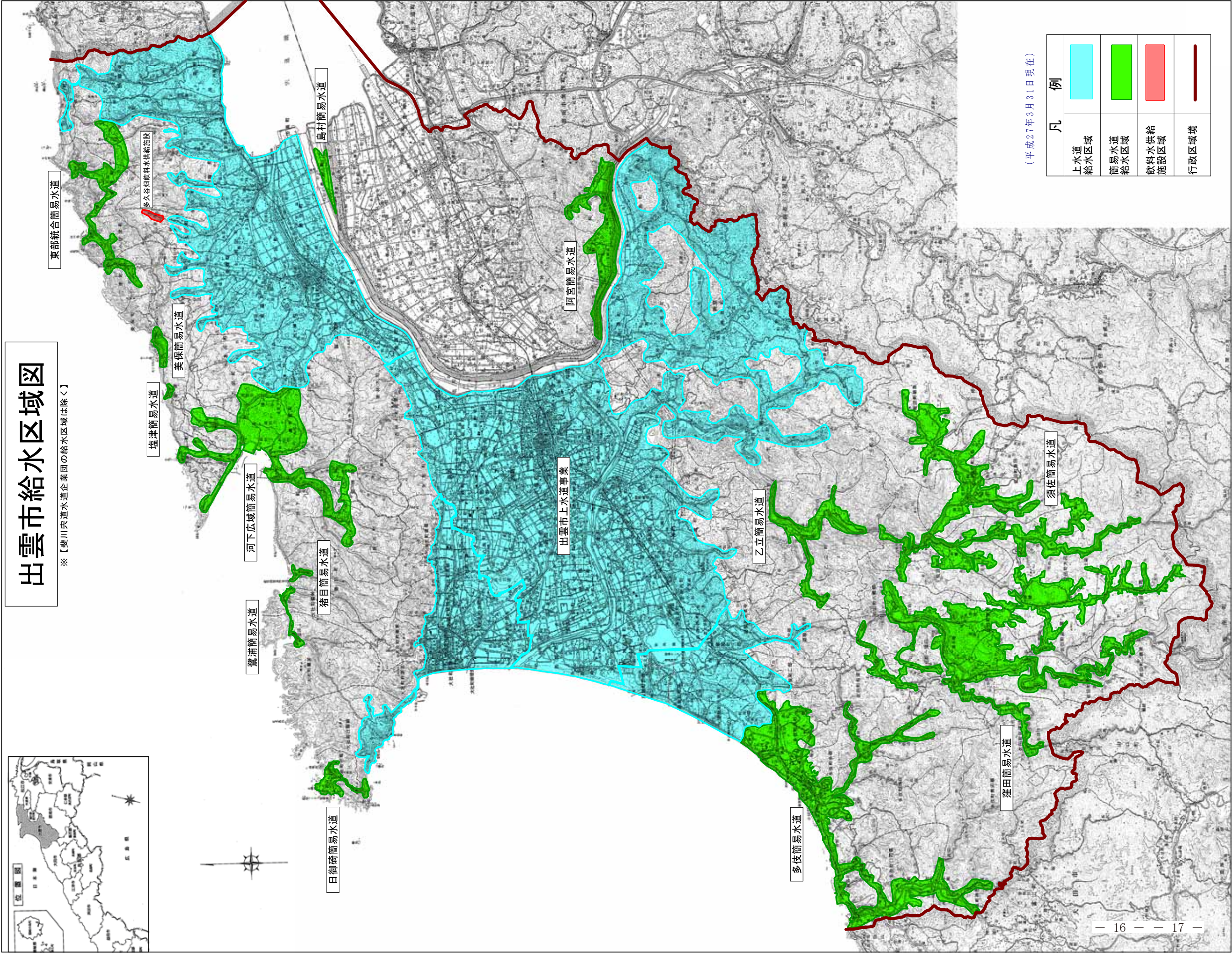
平田町、西平田町、灘分町、美談町、西代町、国富町、口宇賀町、西郷町、万田町の一部、
奥宇賀町の一部、本庄町の一部、東郷町、東福町、久多見町の一部、野石谷町の一部、
上岡田町の一部、岡田町、多久谷町の一部、多久町の一部、園町の一部、鹿園寺町の一部、
小境町の一部、地合町の一部、美野町、野郷町の一部

湖陵地域

湖陵町畑村の一部、湖陵町常楽寺の一部、湖陵町二部の一部、湖陵町三部の一部、
湖陵町大池の一部、湖陵町板津、湖陵町差海

大社地域

大社町杵築東、大社町杵築西、大社町杵築南、大社町杵築北、大社町北荒木、大社町中荒木、
大社町修理免、大社町遙堪の一部、大社町入南、大社町菱根、大社町日御碕の一部

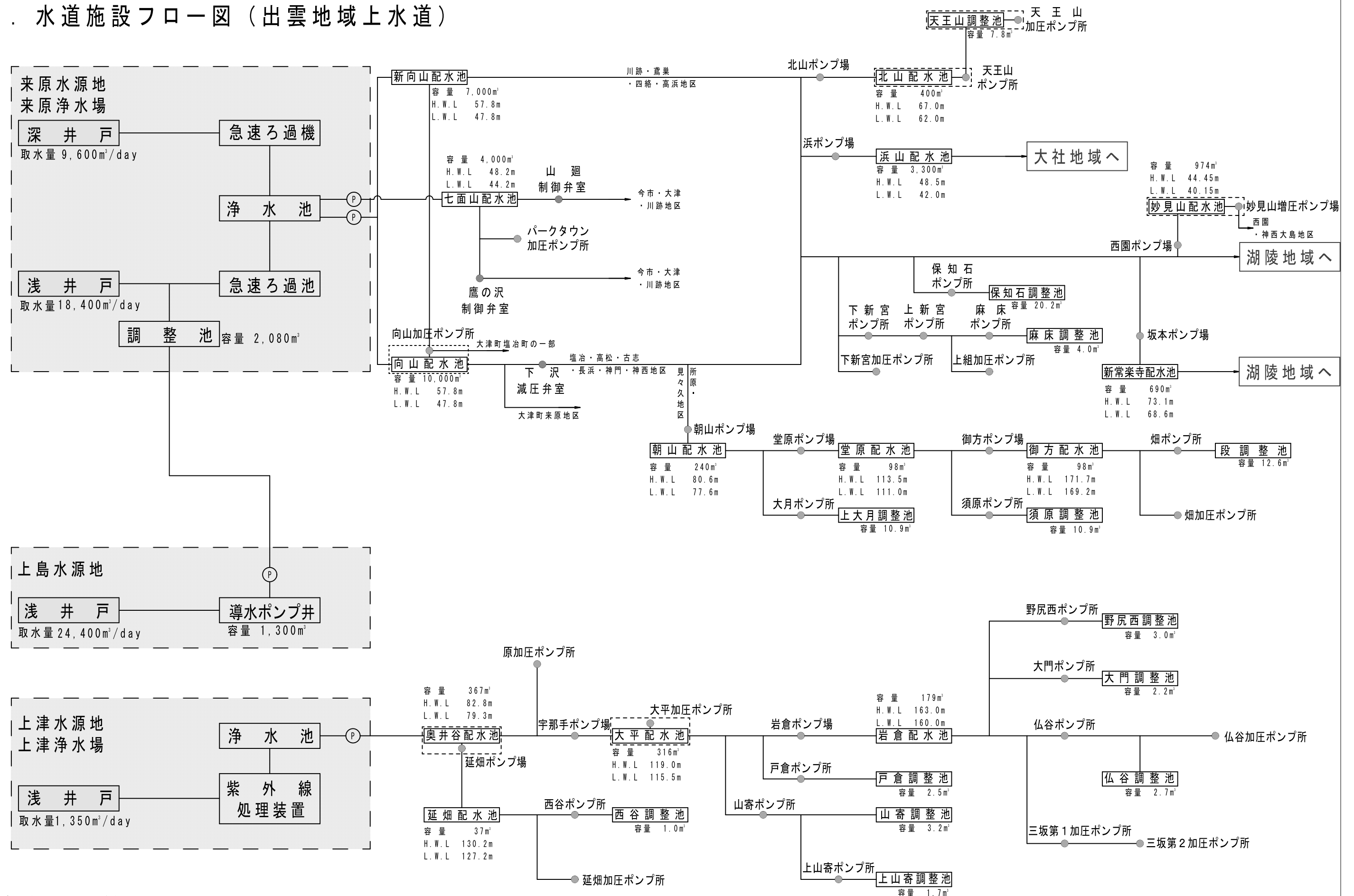


Ⅱ 施設の概要

おいしいな
だいじなお水
ごくごくろり

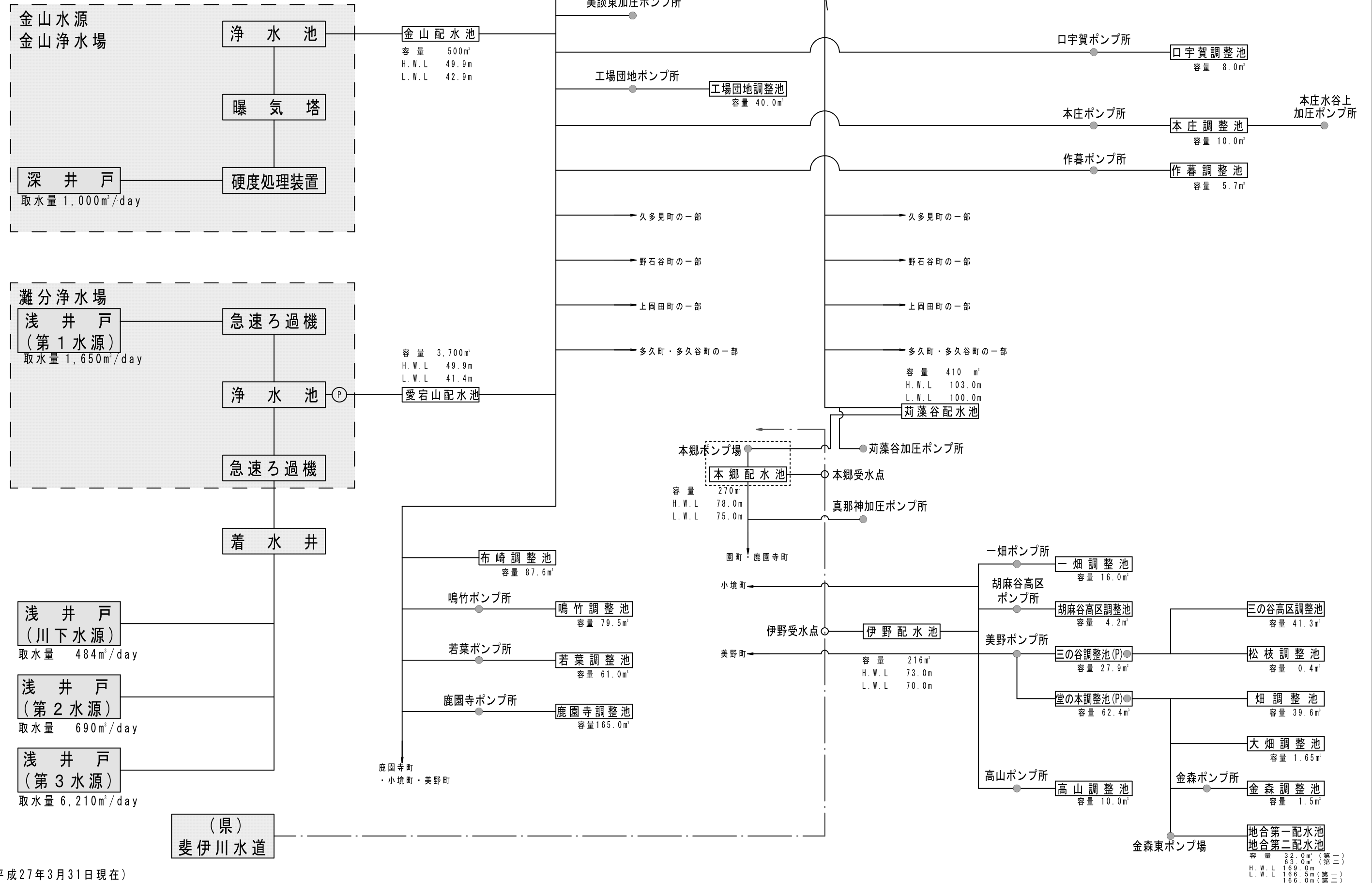
平成二十六年 度 第五十六回水道週間スローガン

1. 水道施設フロー図（出雲地域上水道）



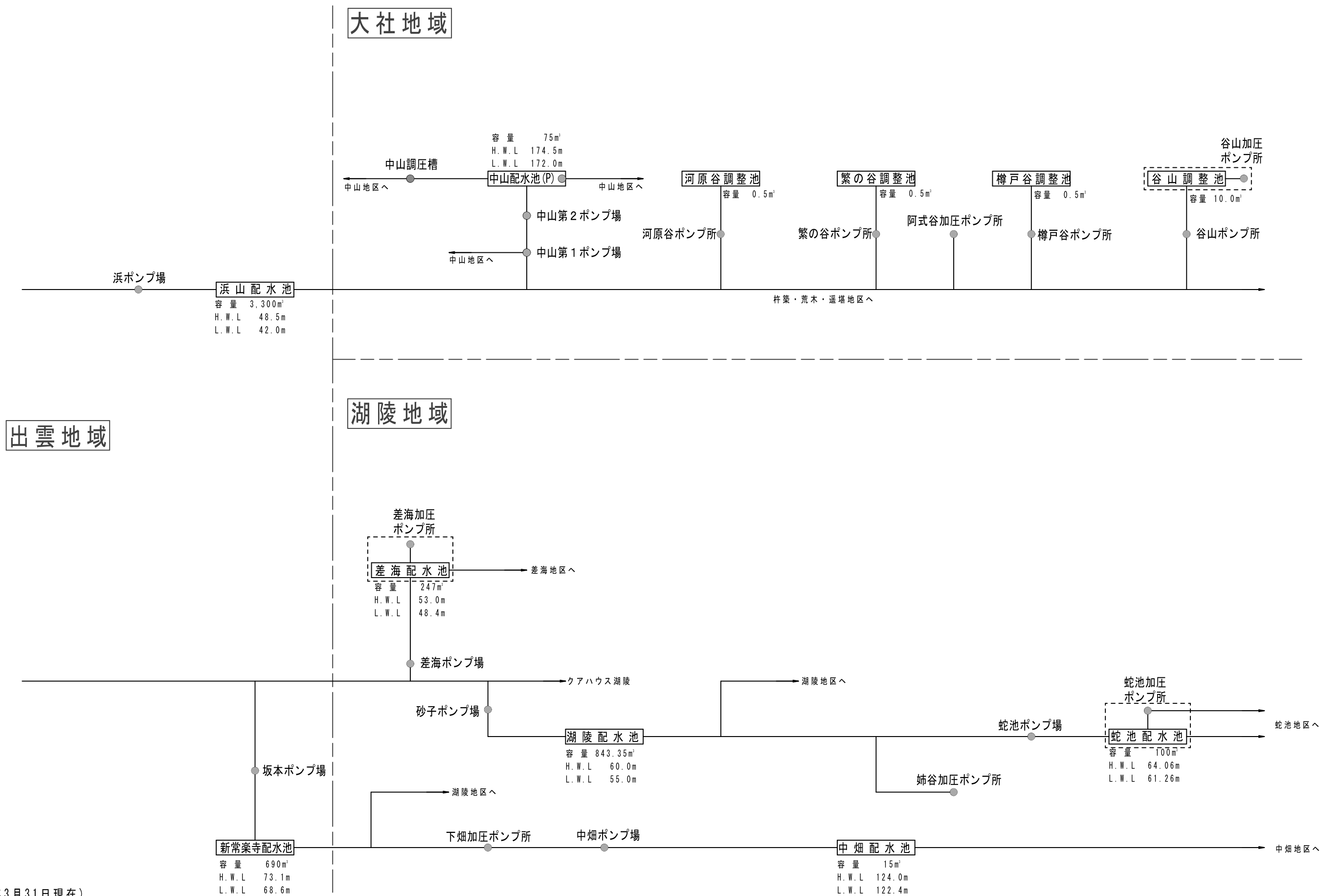
(平成27年3月31日現在)

1. 水道施設フロー図（平田地域上水道）



(平成27年3月31日現在)

1. 水道施設フロー図（湖陵・大社地域上水道）



（平成27年3月31日現在）

出雲地域

– 24 –

施 設	施 設 概 要
(排 水 処 理 施 設)	R C造り 排水池、上澄水槽、排泥池、濃縮槽等一体構造 排水池 巾12.0m×長さ12.0m×水深3.0m×2池 V=864m ³ 上澄水槽 巾4.0m×長さ24.5m×水深3.0m×1池 V=294m ³ 排泥池 巾7.0m×長さ7.0m×水深3.5m×2池 V=270m ³ 濃縮槽 巾7.0m×長さ7.0m×水深3.5m×1池 V=135m ³
(天 日 乾 燥 床)	R C造り 巾7.0m×長さ18.0m A=126m ² ×10池
上 島 水 源 地 (取 水 井)	浅井戸7井 内径(1.00m)×深さ(22.7m~26.3m)×7井 スクリーン L=6.0m~9.0m
(取 水 ポ ン プ) (ポ ン プ 井 : 導 水 用)	水中ポンプ φ150×3.48m ³ /分×30m×18.5~30kw 7台 P C造り 有効容量 V=1300m ³ 満水位標高 HWL+34m 有効水深 10m 低水位標高 LWL+24m
(導 水 ポ ン プ) (ポ ン プ 室) (自 家 発 電 機 設 備)	φ400×300 Q=14m ³ /分 H=27m P=90kw 2台 横軸両吸込渦巻きポンプ R C造り平屋建 巾15.0m×長さ16.0m=240m ² 自家発電機設備 625KvA
上 津 水 源 地 上 津 浄 水 場 (取 水 井) (取 水 ポ ン プ) (着 水 棟)	浅井戸1井 内径0.3m×深さ20m 水中ポンプ φ100×1.5m ³ /分×15m×7.5kw 1台 R C造り 着水井 内空1.0m×4.6m×高さ3.6m 1池 曝気槽 内空2.0m×4.6m×高さ3.8m 1池 混和槽 内空2.2m×4.6m×高さ3.8m 1池 原水槽 内空2.0m×4.6m×高さ2.8m 2池 原水ポンプ S U S製水中渦巻ポンプ φ80×1.13m ³ /分×25m×7.5kw 2台
(管 理 棟)	R C造り 薬注室 内空3.375m×6.810m 電気室 内空6.275m×6.810m 紫外線室 内空9.800m×5.820m 紫外線処理設備 内照式流水型 UVランプ×2本 Q=1,620m ³ /日 2台 ポンプ室 内空9.800m×6.810m 曝気ブローラ ルーツ型ブローラ φ100×5.65m ³ /分×50kPa×11.0kw 1台
(浄 水 池)	R C造り 3.0m×3.55m×2.95m=26.5m ³ 有効水深 2.50m
(送 水 ポ ン プ)	送水ポンプ 多段渦巻ポンプ Q=1.6m ³ /分 H=83m P=37kw 2台(内1台D. E付)
(ポ ン プ 室)	C B造り平屋建 巾4.55m×長さ8.25m 床面積A=37.54m ²

施 設	施 設 概 要
向 山 配 水 池	P C 造り 内径35.7m 有効容量 10,000m ³ 満水位標高 H W L + 57.8m 有効水深 10m 低水位標高 L W L + 47.8m
向 山 加 圧 ポ ン プ 所 (向 山 配 水 池 内 に 設 置)	ポンプ室 R C 造り 22.84m ² ポンプ井 向山配水池 加圧ポンプ S U S 製 $\phi 50 \times 0.77 \text{ m}^3/\text{分} \times 29.2 \text{ m} \times 3.7 \text{ kw}$ 1組(3台)
新 向 山 配 水 池	P C 造り 内径29.9m 有効容量 7,000m ³ 満水位標高 H W L + 57.8m 有効水深 10m 低水位標高 L W L + 47.8m
下 沢 減 圧 弁 室	電 気 室 R C 造り 4.2×3.2 (内空) 配管ピット R C 造り 4.0×3.0×2.3 (h) (内空) 弁 多孔可変式オリフィス弁 $\phi 600$
七 面 山 配 水 池	P C 造り 内径18m 2池 有効容量 1,000m ³ ×2池=2,000m ³ 満水位標高 H W L + 48.2m 有効水深 4.0m 低水位標高 L W L + 44.2m R C 造り 内径13.2m×20m×4.0m×2池 有効容量 2,000m ³ 満水位標高 H W L + 48.2m 有効水深 4.0m 低水位標高 L W L + 44.2m
山 廻 制 御 弁 室	電 気 室 R C 造り3.7×2.7 (内空) 配管ピット R C 造り3.5×2.5×2.1 (h) (内空) 弁 電動式立型バタフライ弁 (くし歯弁体) $\phi 300$
鷹 の 沢 制 御 弁 室	配管ピット R C 造り 2.0×2.0×2.2 (h) (内空) 弁 電動式立型バタフライ弁 (くし歯弁体) $\phi 300$

施 設	施 設 概 要
奥 井 谷 配 水 池	R C 造り 4.0×6.10×2 池×有効水深3.5m 有効容量 171m ³ 満水位標高 HWL +82.8m 低水位標高 LWL +79.3m R C 造り 5.3×10.6×有効水深3.5m 有効容量 196m ³
西 園 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 31.6m ² 送水ポンプ $\phi 125 \times 1.4 \text{m}^3/\text{分} \times 50 \text{m} \times 22 \text{kw}$ 2 台(内 1 台 D, E 付)
妙 見 山 配 水 池	P C 造り 内径12.0m 2 池 487m ³ 有効容量 974m ³ 満水位標高 HWL +44.45m 有効水深 4.3m 低水位標高 LWL +40.15m
浜 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C 造り 60m ² 滅菌器 4 台 (次亜注入用) 自動塩素測定機 1 基 ポンプ井 R C 造り 13.8m×12.0m×有効水深3.0m 有効容量 480m ³ 満水位標高 HWL +2.2m 低水位標高 LWL -0.8m 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ $\phi 150 \times 2.58 \text{m}^3/\text{分} \times 61 \text{m} \times 45 \text{kw} \times 4$ 台 (内 1 台予備) 電 気 室 R C 造り 96m ² 自家用発電機 1 台 150kVA
浜 山 配 水 池	P C 造り 内径 25.5m 有効容量 3,300m ³ 満水位標高 HWL +48.5 有効水深 6.5m 低水位標高 LWL +42.0

施 設	施 設 概 要
坂 本 ポ ン プ 場	ポンプ室 S U S 製 ポンプ井・次亜室一体型 6.0×11.0×H2.5m(内6.0×7.0×H2.5m) ポンプ井 3.0×4.0×H2.5(有効水深H1.7)m 2池 有効容量 40.8m³ 満水位標高 H W L +11.7m 低水位標高 L W L +10.0m 送水ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ φ80×640ℓ/分×70.1m×15kw 2台 次 亜 室 2.0×3.0×H2.5m (ポンプ室内) 次亜注入装置 液中バルブレス型 0.1～5.8mℓ/分×1.0Mpa×200V 2台 次亜貯槽 角型密閉槽 PVC製 100ℓ
新 常 楽 寺 配 水 池	本 体 S U S 製 7.0m×11.0m×H5.0(有効水深H4.5)m×2池 有効容量 690m³ 満水位標高 H W L +73.1m 低水位標高 L W L +68.6m 緊急遮断弁 φ200 手動復帰形ウエイト閉鎖式、流量感知 弁 室 R C 造り 2.0×1.9×H1.46m(内空)
北 山 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C 造り 51.41m² ポンプ井 R C 造り 5.5×4.9×有効水深2.5m 67.4m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ100×1,110ℓ/分×69m 2台(内1台D. E付)
北 山 配 水 池	P C 造り 内径 10.3m 有効容量 400m³ 満水位標高 H W L +67.0m 有効水深 5.0m 低水位標高 L W L +62.0m
朝 山 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 25.5m² ポンプ井 R C 造り 4.0×4.0×有効水深1.5m 24.0m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ65×360ℓ/分×72m 2台(内1台D. E付)
朝 山 配 水 池	R C 造り 5.0×8.0×有効水深3.0m×2池 240.0m³
堂 原 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 20.6m² ポンプ井 R C 造り 2.9×2.9×有効水深1.0m 8.4m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ40×120ℓ/分×80m×5.5kw 2台 D. E7.45 P S
堂 原 配 水 池	R C 造り 3.5×5.6×有効水深2.5m×2池 98.0m³

施 設	施 設 概 要
御 方 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 26.8㎡ ポンプ井 R C 造り 2.4×2.4×有効水深1.05m 5.7m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ40×100ℓ/分×86m×5.5kw 2台 D. E7.4P S
御 方 配 水 池	R C 造り 3.5×5.6×有効水深2.5m×2池 98.0m³
宇 那 手 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 4.15×6.25=25.9㎡ ポンプ井 R C 造り 2.5×2.8×有効水深2.0m 14m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ100×800ℓ/分×91.5m 22kw×2台(内D. E付1台)
大 平 配 水 池	R C 造り 4.0×5.3×2池×有効水深3.5m 有効容量 148m³ 満水位標高 HWL+119m 低水位標高 L W L +115.5m R C 造り 4.4×5.5×2池×有効水深3.5m 有効容量 169m³ 満水位標高 HWL+119m 低水位標高 L W L +115.5m
岩 倉 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B 造り 5.5×3.35-1.20×1.75=16.325㎡ ポンプ井 R C 造り 1.5×2.05×有効水深1.5m=4.6m³ 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ65×315ℓ/分×98m 11kw×2台(内D. E付1台)
岩 倉 配 水 池	R C 造り 4.0×6.75×有効水深3.0m 有効容量 81m³ 満水位標高 HWL+163m 低水位標高 L W L +160m R C 造り 4.9×6.7×有効水深3.0m 有効容量 98m³ 満水位標高 HWL+163m 低水位標高 L W L +160m
延 畑 ポ ン プ 場 (奥井谷配水池内に設置)	送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50×125ℓ/分×77m×5.5kw 2台(内1台予備)
延 畑 配 水 池	R C 造り 3.0×4.2×有効水深3.0m 有効容量 37m³ 満水位標高 HWL+130.2m 低水位標高 L W L +127.2m

施 設	施 設 概 要
天 王 山 ポ ン プ 所 (北 山 配 水 池 内 に 設 置)	電 気 室 R C造り 7.7㎡ 送水ポンプ φ 40×580/分×75m×5.5kw
天 王 山 調 整 池	R C造り 2.55m×2.55m×有効水深1.2m 有効容量 7.8㎡ 満水位標高 HWL+131.270m 低水位標高 LWL+130.070m
保 知 石 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 3.0m×3.0m×有効水深2.25m 有効容量 20.2㎡ 満水位標高 HWL+20.70m 低水位標高 LWL+18.45m 送水ポンプ φ 40×1000/分×87m×5.5kw 2台
保 知 石 調 整 池	R C造り 3.0m×3.0m×有効水深2.25m 有効容量 20.2㎡ 満水位標高 HWL+80.50m 低水位標高 LWL+78.25m
大 月 ポ ン プ 所	電気室 C B造り 10.3㎡ ポンプ井 R C造り 2.4×2.4×有効水深1.0m 5.7㎡ 送水ポンプ 水中タービンポンプ φ 40×1200/分×118m×7.5kw 2台
上 大 月 調 整 池	R C造り 2.9×2.9×有効水深1.3m 10.9㎡
須 原 ポ ン プ 所	電 気 室 C B造り 10.3㎡ ポンプ井 R C造り 2.4×2.4×有効水深1.0m 5.7㎡ 送水ポンプ 水中タービンポンプ φ 40×1400/分×105m×5.5kw 2台
須 原 調 整 池	R C造り 2.9×2.9×有効水深1.3m 10.9㎡
畑 ポ ン プ 所	電 気 室 C B造り 10.3㎡ ポンプ井 R C造り 2.4×2.4×有効水深1.0m 5.7㎡ 送水ポンプ 水中タービンポンプ φ 40×1000/分×105m×5.5kw 2台
段 調 整 池	R C造り 2.9×2.9×有効水深1.5m 12.6㎡
山 寄 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.0m×1.1m×有効水深1.0m 有効容量 1.1㎡ 満水位標高 HWL+83.6m 低水位標高 LWL+82.6m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ 50×2500/分×92m×7.5kw 2台 (内 1 台予備)

施 設	施 設 概 要
山 寄 調 整 池	R C 造り 1.5m×1.8m×有効水深1.2m 有効容量 3.2m ³ 満水位標高 HWL +161.3m 低水位標高 LWL +160.1m
上 山 寄 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C 造り 1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +137.0m 低水位標高 LWL +136.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50×125ℓ/分×77m×5.5kw 2台（内1台予備）
上 山 寄 調 整 池	R C 造り 1.0m×1.7m×有効水深1.0m 有効容量 1.7m ³ 満水位標高 HWL +183.0m 低水位標高 LWL +182.0m
戸 倉 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C 造り 1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +82.0m 低水位標高 LWL +81.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40×87ℓ/分×85m×5.5kw 2台（内1台予備）
戸 倉 調 整 池	R C 造り 1.4m×1.5m×有効水深1.2m 有効容量 2.5m ³ 満水位標高 HWL +153.7m 低水位標高 LWL +152.5m
野 尻 西 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C 造り 1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +127.0m 低水位標高 LWL +126.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50×125ℓ/分×77m×5.5kw 2台（内1台予備）
野 尻 西 調 整 池	R C 造り 1.5m×1.7m×有効水深1.2m 有効容量 3.0m ³ 満水位標高 HWL +191.0m 低水位標高 LWL +189.8m

施 設	施 設 概 要		
大 門 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C 造り	1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +125.5m 低水位標高 LWL +124.5m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40×90ℓ/分×70m×3.7kw 2台（内1台予備）
大 門 調 整 池	R C 造り	1.25m×1.5m×有効水深1.2m 有効容量 2.2m ³ 満水位標高 HWL +174.5m 低水位標高 LWL +173.3m	
仏 谷 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C 造り	1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +136.8m 低水位標高 LWL +135.8m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40×94ℓ/分×135m×7.5kw 2台（内1台D. E付）
仏 谷 調 整 池	R C 造り	1.5m×1.55m×有効水深1.2m 有効容量 2.7m ³ 満水位標高 HWL +241.2m 低水位標高 LWL +240.0m	
西 谷 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C 造り	1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +88.7m 低水位標高 LWL +87.7m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50×125ℓ/分×77m×5.5kw 2台（内1台予備）
西 谷 調 整 池	R C 造り	1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 HWL +152.6m 低水位標高 LWL +151.4m	
下 新 宮 ポ ン プ 所	滅菌電気室	C B 造り	13.8m ² ポンプ井 R C 造り 2.3m×2.3m×有効水深1.9m 有効容量 10.0m ³ 満水位標高 HWL +25.90m 低水位標高 LWL +24.00m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40×165ℓ/分×76m×5.5kw 2台

施 設	施 設 概 要
上 新 宮 ポ ン プ 所	電 気 室 C B 造り 5.4㎡ ポンプ井 R C 造り 3.9m×3.9m×有効水深1.4m 有効容量 21.2m³ 満水位標高 H W L + 77.25m 低水位標高 L W L + 75.85m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ 40×122ℓ/分×58m×3.7kw 2 台 φ 40×139ℓ/分×90m×5.5kw 2 台
麻 床 ポ ン プ 所	電 気 室 C B 造り 8.7㎡ ポンプ井 R C 造り 2.6m×2.6m×有効水深1.6m 有効容量 10.8m³ 満水位標高 H W L + 128.15m 低水位標高 L W L + 126.55m 送水ポンプ 水中ポンプ φ 40×120ℓ/分×61m×3.7kw 2 台
麻 床 調 整 池	調整池 R C 造り 2.0m×2.0m×有効水深1.0m 有効容量 4.0m³ 満水位標高 H W L + 182.60m 低水位標高 L W L + 181.60m
妙 見 山 増 圧 ポ ン プ 場 (妙見山配水池内に設置)	ポンプ室 R C 造り平屋建 5.34m×3.84m=20.5㎡ 増圧ポンプ 多段渦巻ポンプ 1.75m³/分×20m×3.7kw 5 台並列運転 (最大 4 台)
パークタウン加圧ポンプ所	電 気 室 16.3㎡ ポンプ井 R C 造り 5.85m×1.55m×有効水深2.1m (2 槽) 有効容量 38.1m³ 満水位標高 H W L + 30.8m 低水位標高 L W L + 28.7m 加圧ポンプ φ 50×260ℓ/分×35m×3.7kw
天 王 山 加 圧 ポ ン プ 所 (天王山調整池内に設置)	電 気 室 R C 造り 7.7㎡ ポンプ井 天王山調整池 加圧ポンプ φ 32×85ℓ/分×54m×2.2kw

施 設	施 設 概 要
上 組 加 圧 ポ ン プ 所	電 気 室 C B造り 8.7㎡ ポンプ井 R C造り 2.6m×2.6m×有効水深1.1m 有効容量 7.4m ³ 満水位標高 H W L +158.05m 低水位標高 L W L +156.95m 加圧ポンプ 水中ポンプ圧力タンク付 φ32×60ℓ/分×35m×1.5kw 2台
下 新 宮 加 圧 ポ ン プ 所	電 気 室 3.3㎡ ポンプ井 R C造り 1.8m×2.0m×有効水深1.8m 加圧ポンプ φ32×100ℓ/分×40m×1.1kw
畑 加 圧 ポ ン プ 所	電 気 室 R C造り 7.7㎡ ポンプ井 R C造り 2.55m×2.55m×有効水深1.1m 有効容量 7.15m ³ 満水位標高 H W L +136.70m 低水位標高 L W L +135.60m 加圧ポンプ φ40×68ℓ/分×76m×5.5kw
原 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ室 R C造り 2.75×2.95=8.1㎡ ポンプ井 R C造り 1.8m×1.8m×有効水深0.9m 有効容量 2.9m ³ 満水位標高 H W L +46.20 低水位標高 L W L +45.30 加圧ポンプ φ40×95.2ℓ/分×55m×3.7kw 2台（内1台予備）
大 平 加 圧 ポ ン プ 所 （大平配水池内に設置）	ポンプ井 大平配水池 加圧ポンプ φ32×60ℓ/分×63m×2.2kw 2台（内1台予備）
仏 谷 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.2m×1.2m×有効水深0.7m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 H W L +212.0m 低水位標高 L W L +211.3m 加圧ポンプ 水中モーターポンプ φ32×60ℓ/分×63m×2.2kw 2台（内1台予備）
延 畑 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 1.0m×1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m ³ 満水位標高 H W L +107.9m 低水位標高 L W L +106.9m 加圧ポンプ 水中モーターポンプ φ40×68ℓ/分×3.5~5.0kg/cm×5.5kw 2台（内1台予備）

施 設	施 設 概 要
三坂第1加圧ポンプ所	電 気 室 R C造り 7.7㎡ ポンプ井 R C造り 2.3m×2.3m×有効水深0.9m 有効容量 4.8㎡ 満水位標高 H W L + 128.95m 低水位標高 L W L + 128.05m 加圧ポンプ $\phi 25 \times 53\ell/\text{分} \times 62\text{m} \times 1.9\text{kw}$
三坂第2加圧ポンプ所	電 気 室 R C造り 13.9㎡ ポンプ井 R C造り 2.3m×2.3m×有効水深1.2m 有効容量 6.3㎡ 満水位標高 H W L + 160.30m 低水位標高 L W L + 159.10m 加圧ポンプ $\phi 40 \times 96\ell/\text{分} \times 97\text{m} \times 5.5\text{kw}$

平田地域

施 設			施 設 概 要	
第 1	水 源		取水井	R C造り 内径5.0m×深さ6.5m×1井
			集水埋管	有孔H P φ 600 L=24.3m
			取水ろ過ポンプ	陸上渦巻ポンプ φ 80×1.15m ³ /分×25m×7.5kw 2台
			取水ポンプ室	鉄骨造り48.19m ²
第 2	水 源		取水井	R C造り 内径4.0m×深さ4.0m×1井
			取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ 80×950ℓ/分×20m×5.5kw 1台
第 3	水 源		取水井	R C造り 内径3.0m×深さ5.0m×1井
			集水埋管	有孔H P φ 600 L=224m
				Vスロットスクリーンφ 600 L=72m
			取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ 125×2.0m ³ /分×25m×11kw 1台
				水中渦巻ポンプ φ 150×3.0m ³ /分×25m×22kw 2台
			操作室	C B造り 14.7m ²
			調整池	C B造り 有効容量 11,860m ³
				満水位標高 HWL+3.0m
				低水位標高 LWL-0.5m
			自家発電設備	90KVA
川 下	水 源			外径φ 940 内径φ 300 L=3.52m
				陸用渦巻ポンプ φ 65×560ℓ/分×20m×3.7kw 1台
灘 分 浄 水 場				
(着 水 棟)			R C造り 2階建 延床面積 126.18m ²	
			1階 着水井、流量計室 巾5.16×長4.16×深4.1(有効3.05) 1池	
			容量65.5m ³ 浄水量7,384m ³ /日	
			2階 ポンプ室、薬注室	
(浄 水 池 棟)			R C造り 2階建 延床面積 466.46m ²	
			1階 ポンプ室、浄水池、薬品混和槽、分配槽	
			巾6.30×長18.25×深6.3(有効4.8) 2池	
			容量1,075.5m ³ 浄水量9,034m ³ /日	
			2階 水質計器室、電気室、薬注室、事務室、点検口室	
(ろ 過 施 設)			圧力式密閉型急速ろ過機 鋼板整	
			第1水源系 φ 3,300×2,500H×2基(除鉄・除マンガン)	
			処理水量 1,650m ³ /日	
			第2、第3、川下水源系 φ 3,300×2,500H×4基(多層ろ過)	
			処理水量 7,384m ³ /日	
			ろ過ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 125×1.67m ³ /分×20m×11kw 4台	
			逆洗ポンプ 陸用片吸込渦巻ポンプ φ 200×5.99m ³ /分×12m×22kw 2台	
			表洗・排水ポンプ 陸用片吸込渦巻ポンプ φ 80×1.71m ³ /分×22m×11kw 2台	

施 設	施 設 概 要
(薬 注 施 設)	第1水源系 (前塩素注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量2.3～69.0cc/分 2台 (自動交互) (PAC注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量0.69～69.0cc/分 3台 (2台:自動交互 1台:共通予備機) (アルカリ剤注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量0.69～69.0cc/分 3台 (2台:自動交互 1台:共通予備機) 第2、第3、川下水源系 (前塩素注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量1.59～159.0cc/分 2台 (自動交互) (PAC注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量0.69～69.0cc/分 6台 (4台:自動交互 2台:共通予備機) (アルカリ剤注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量0.69～69.0cc/分 6台 (4台:自動交互 2台:共通予備機) 浄水池棟 液中ピストンポンプ (後塩素注入機) 吐出量1.59～159.0cc/分 2台 (自動交互)
(排 水 処 理 施 設)	排水池 R C造り 巾9.0×長9.0×深1.4 (有効1.1) 2池 有効容量178.2m³/日 送泥ポンプ ボルテックス水中ポンプ $\phi 65 \times 3400$/分$\times 12m \times 2.2kw$ 2台 濃縮槽 巾5.0×長5.0×深4.9 (有効3.0) 2槽 給泥量 493.2m³/日 汚泥引抜ポンプ 有効容量150m³/日 $\phi 50 \times 3000$/分$\times 8m \times 1.5kw$ 2台 汚泥掻き寄機 レーキ径$\phi 4,800$ 電動機0.2kw、減速機付 周速度0.185m/分 2台
(脱 水 機 棟)	鉄骨造り 2階建 延床面積 101.82m² 脱水機 無薬注長時間加圧脱水方式 自動フィルタープレス 1台 ケーキ量 1480/日 打込ポンプ $\phi 40 \times 260$/分$\times 12MPa \times 2.2kw$ 1台 ベルトコンベアー 1基 ケーキホッパー 有効 2 m³
(自 家 発 電 機 設 備)	400KvA
(管 理 棟)	R C造り 延床面積 171m ²
(事 務 所 ・ 倉 庫 棟)	鉄骨造り 延床面積 128m ²
(送 水 施 設)	送水ポンプ 陸用多段渦巻ポンプ $\phi 150 \times 2.775m^3$ /分 $\times 60m \times 55kw$ 3台

施 設	施 設 概 要
金 山 水 源 金 山 浄 水 場 (取 水 井) (取 水 ポ ン プ) (取 水 ポ ン プ 室) (曝 気 装 置) (滅 菌 室 ・ 電 気 室) (硬 度 処 理 装 置) (滅 菌 機) (浄 水 池)	鋼管 内径0.225m×深さ60.1m 裸孔 内径0.165m×深さ191m 水中深井戸用ポンプ $\phi 100 \times 1.0 \text{ m}^3/\text{分} \times 70 \text{ m} \times 18.5 \text{ kw}$ 1台 R C造り 3.8 m^2 脱炭酸塔 F R P製楕円筒型 $\phi 1000 \times H3000$ 1基 C B造り 12.6 m^2 希硫酸注入機 電磁式ダイヤフラムポンプ 吐出量0～25.0cc/分 2台 液中ピストンポンプ 吐出量0.5～15.0cc/分 2台 R C造り 50 m^3
愛 宕 山 配 水 池	旧 P C造り 内径19.5m 有効容量 2,500 m^3 満水位標高 H W L + 49.9m 有効水深 8.5m 低水位標高 L W L + 41.4m 新（楕円） P C造り 短円方向10.0m×長円方向16.5m 有効容量 1,200 m^3 満水位標高 H W L + 49.9m 有効水深 8.5m 低水位標高 L W L + 41.4m
金 山 配 水 池	P C造り 内径9.6m 有効容量 500 m^3 満水位標高 H W L + 49.9m 有効水深 7.0m 低水位標高 L W L + 42.9m
本 郷 配 水 池	配水池 S U S製 5.0×9.0×有効水深3.0m×2池 有効容量 270 m^3 満水位標高 H W L + 78.0m 低水位標高 L W L + 75.0m 薬注室 R C造り 内空1.82×2.82 5.13 m^2 次亜注入装置 液中バルブレス型 0.08～8 $\text{m}^3/\text{分} \times 1.0 \text{ Mpa} \times 100 \text{ V}$ 2台 次亜貯槽 角型密閉槽 P V C製 50 ℓ
本 郷 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C造り 4.82×5.32 25.64 m^2 電 気 室 R C造り 2.82×2.82 7.95 m^2 送水ポンプ 陸用多段渦巻ポンプ $\phi 100 \times 1420 \ell/\text{分} \times 44.0 \text{ m} \times 18.5 \text{ kw} \times 2$ 台

施 設	施 設 概 要
荇藻谷配水池	P C造り 内径13.6m 有効容量 410m ³ 満水位標高 H W L + 103.0m 有効水深 3.0m 低水位標高 L W L + 100.0m
荇藻谷加圧ポンプ所	加圧ポンプ 直結給水ブースターポンプ $\phi 32 \times 110 \ell / \text{分} \times 43.3 \text{ m} \times 1.5 \text{ k w}$ 1組(2台)
伊野配水池	配水池 S U S製 4.0×9.0×有効水深3.0m×2池 有効容量 216m ³ 満水位標高 H W L + 73.0m 低水位標高 L W L + 70.0m 電気薬注棟 R C造り 12.5m ² 電気室 2.5m×2.5m 薬注室 2.5m×2.5m 次亜注入装置 液中バルブレス型 $0.04 \sim 3.9 \text{ m} \ell / \text{分} \times 1.0 \text{ Mpa} \times 100 \text{ V}$ 2台 次亜貯槽 角型密閉槽 PVC製 50ℓ
金森東ポンプ場	ポンプ室 S U S製 18m ² ポンプ井 S U S製 3.0×1.5×有効水深H1.5m 有効容量 6.75m ³ 満水位標高 H W L + 80.1m 低水位標高 L W L + 78.6m 送水ポンプ 多段渦巻きポンプ $\phi 40 \times 80 \ell / \text{分} \times 110 \text{ m} \times 7.5 \text{ kw} \times 2$ 台
地合第1配水池	R C製 2.0×3.2×有効水深2.5m×2池 有効容量 32m ³ 満水位標高 H W L + 169.0m 低水位標高 L W L + 166.5m
地合第2配水池	R C製 2.1×5.0×有効水深3.0m×2池 有効容量 63m ³ 満水位標高 H W L + 169.0m 低水位標高 L W L + 166.0m
布崎調整池	R C造り 内径6.0m 有効容量 87.6m ³ 満水位標高 H W L + 33.5m 有効水深 3.1m 低水位標高 L W L + 30.4m

施 設	施 設 概 要
口 宇 賀 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 2.0×1.5×有効水深1.5m 有効容量 4.5m ³ 満水位標高 H W L + 22.3m 低水位標高 L W L + 20.8m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ $\phi 32 \times 600$ /分×63m×2.2kw×2台
口 宇 賀 調 整 池	R C造り 2.0×2.0×有効水深2.0m 有効容量 8 m ³ 満水位標高 H W L + 55.7m 低水位標高 L W L + 53.7m
工 場 団 地 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B造り ポンプ井 R C造り 2.7×3.8×有効水深1.5m 有効容量 15m ³ 満水位標高 H W L + 32.5m 低水位標高 L W L + 31.0m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 40 \times 2700$ /分×43.5m×3.7kw×2台
工 場 団 地 調 整 池	R C造り 4.0×5.0×有効水深2.0m 有効容量 40m ³ 満水位標高 H W L + 58.5m 低水位標高 L W L + 56.5m
本 庄 ポ ン プ 所	ポンプ室 木造造り ポンプ井 R C造り 2.0×3.5×有効水深2.2m 有効容量 15m ³ 満水位標高 H W L + 28.2m 低水位標高 L W L + 26.0m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 32 \times 1210$ /分×50m×2.2kw×2台
本 庄 調 整 池	R C造り 2.0×3.0×有効水深1.7m 有効容量 10m ³ 満水位標高 H W L + 51.0m 低水位標高 L W L + 49.2m
作 暮 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B造り ポンプ井 R C造り 1.96×2.0×有効水深1.5m 有効容量 6 m ³ 満水位標高 H W L + 22.0m 低水位標高 L W L + 20.5m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 32 \times 1250$ /分×34.2m×1.5kw×2台

施 設	施 設 概 要
作 暮 調 整 池	R C 造り 1.8×1.8×有効水深1.8m 有効容量 5.7m ³ 満水位標高 HWL +55.8m 低水位標高 LWL +54.0m
鳴 竹 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 1.8×2.5×有効水深1.5m 有効容量 6.75m ³ 満水位標高 HWL +26.7m 低水位標高 LWL +25.2m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S φ 32×100ℓ/分×50m×2.2kw×2 台
鳴 竹 調 整 池	R C 造り 3.75×5.3×有効水深2.0m 2 池 有効容量 39.75m ³ ×2 池=79.5m ³ 満水位標高 HWL +60.6m 低水位標高 LWL +58.6m
若 葉 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 1.8×1.8×有効水深1.5m 有効容量 5m ³ 満水位標高 HWL +19.5m 低水位標高 LWL +18.0m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S φ 32×125ℓ/分×51m×2.2kw×2 台
若 葉 調 整 池	R C 造り 1.4×3.6×有効水深2.0m R C 造り 3.5×4.5×有効水深2.0m R C 造り 2.3×4.5×有効水深2.0m 有効容量 10m ³ +31m ³ +20m ³ =61m ³ 満水位標高 HWL +52.0m 低水位標高 LWL +50.0m
鹿 園 寺 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 4.0×5.0×有効水深2.0m 有効容量 40m ³ 満水位標高 HWL +13.5m 低水位標高 LWL +11.5m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S φ 65×500ℓ/分×55m×7.5kw×2 台
鹿 園 寺 調 整 池	R C 造り 10.0×4.35×有効水深3.8m 有効容量 165m ³ 満水位標高 HWL +60.3m 低水位標高 LWL +56.5m

施 設	施 設 概 要
一 畑 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 2.8×4.0×有効水深1.8m 有効容量 20m³ 満水位標高 H W L + 52.0m 低水位標高 L W L + 50.2m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 40 \times 900$/分×72m×3.7kw×2台
一 畑 調 整 池	R C 造り 2.8×3.8×有効水深1.5m 有効容量 16m³ 満水位標高 H W L + 110.0m 低水位標高 L W L + 108.5m
胡 麻 谷 高 区 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 1.8×3.0×有効水深1.3m 有効容量 7 m³ 満水位標高 H W L + 57.0m 低水位標高 L W L + 55.7m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 32 \times 600$/分×65m×2.2kw×2台
胡 麻 谷 高 区 調 整 池	R C 造り 1.8×1.8×有効水深1.3m 有効容量 4.2m³ 満水位標高 H W L + 101.0m 低水位標高 L W L + 99.7m
高 山 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り ポンプ井 R C 造り 2.0×3.0×有効水深1.7m 有効容量 10m³ 満水位標高 H W L + 45.0m 低水位標高 L W L + 43.3m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S $\phi 40 \times 1800$/分×59.5m×3.7kw×2台
高 山 調 整 池	R C 造り 2.0×3.0×有効水深1.7m 有効容量 10m³ 満水位標高 H W L + 99.5m 低水位標高 L W L + 97.8m

施 設	施 設 概 要		
美 野 ポ ン プ 所	ポンプ室	C B 造り	24.69㎡
	ポンプ井	R C 造り	2.0×5.25×有効水深2.1m
		有効容量	22.05㎡
		満水位標高	H W L + 42.7m
		低水位標高	L W L + 40.6m
	送水ポンプ	(堂の本系)	陸用堅型多段渦巻ポンプ
			φ 40×1000/分×91.1m×3.7kw 2 台
		(三の谷系)	陸用堅型多段渦巻ポンプ
			φ 32×480/分×76m×2.2kw 2 台
三 の 谷 調 整 池 (ポ ン プ 所)	調 整 池	R C 造り	5.0×3.6×有効水深1.55m
		有効容量	27.9㎡
		満水位標高	H W L + 104.0m
		低水位標高	L W L + 102.45m
	ポンプ室	C B 造り	3.61㎡
	送水ポンプ	陸用カスケートポンプ	φ 32×22.50/分×45m×1.5kw×2 台
堂 の 本 調 整 池 (ポ ン プ 所)	調 整 池	R C 造り	5.0×6.4×有効水深1.95m
		有効容量	62.4㎡
		満水位標高	H W L + 104.5m
		低水位標高	L W L + 102.55m
	ポンプ室	C B 造り	3.61㎡
	送水ポンプ	水中渦巻ポンプ S U S	φ 32×600/分×65m×2.2kw×2 台
三 の 谷 高 区 調 整 池	R C 造り	5.1×4.5×有効水深1.8m	
	有効容量	41.3㎡	
	満水位標高	H W L + 144.0m	
	低水位標高	L W L + 142.2m	
松 枝 調 整 池	耐震型円形 F R P 造り	φ 840×1,000×有効水深0.375m	
	有効容量	0.4㎡	
	満水位標高	H W L + 121.514m	
	低水位標高	L W L + 121.139m	
畑 調 整 池	R C 造り	5.5×4.0×有効水深1.8m	
	有効容量	39.6㎡	
	満水位標高	H W L + 166.5m	
	低水位標高	L W L + 164.7m	
大 畑 調 整 池	R C 造り	1.5×1.0×有効水深1.1m	
	有効容量	1.65㎡	
	満水位標高	H W L + 122.9m	
	低水位標高	L W L + 121.8m	

施 設	施 設 概 要
金 森 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B 造り 1.95m² ポンプ井 R C 造り 1.64×2.0×有効水深0.68m 有効容量 2.23m³ 満水位標高 H W L + 80.4m 低水位標高 L W L + 79.72m 送水ポンプ 陸用カスケートポンプ φ 32×15.3ℓ/分×65m×1.5kw×2 台
金 森 調 整 池	耐震型円形 F R P 造り φ 1,400×1,274×有効水深0.781m 有効容量 1.5m³ 満水位標高 H W L + 143.165m 低水位標高 L W L + 142.384m
美 談 西 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 F R P 製 5m³ 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット φ 40×115ℓ/分×58.8m×3.7kw 1 組 (2台)
美 談 東 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 F R P 製 4m³ 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット φ 40×90ℓ/分×55.23m×3.7kw 1 組 (2台)
本 庄 水 谷 上 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 F R P 製 5m³ 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット φ 40×78ℓ/分×71.8m×5.5kw 1 組 (2台)
真 那 神 加 圧 ポ ン プ 所	加圧ポンプ 直結給水ブースターポンプ φ 25×30ℓ/分×61m×0.75 k w 1 組 (2台)

湖陵地域

施 設	施 設 概 要
差 海 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C造り30㎡ ポンプ井 R C造り 2.2m×4.2m×有効水深H1.5m 有効容量 13.6㎡ 満水位標高 HWL +4.00m 低水位標高 L W L +2.50m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 50 \times 2800$/分×63.0m×5.5kw 2台 次亜注入装置 34cc/分×200V×0.1kw 2台 (200L槽)
差 海 配 水 池	P C造り 内径8.6m×有効水深H4.6m 有効容量 247㎡ 満水位標高 HWL +53.0m 低水位標高 L W L +48.4m
差 海 加 圧 ポ ン プ 所 (差海配水池下段に設置)	ポンプ井 差海配水池 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット $\phi 40 \times 2200$/分×33.0m×2.2kw 1組(2台)
砂 子 ポ ン プ 場	ポンプ室 C B造り29.6㎡ ポンプ井 R C造り 4.7m×6.2m×有効水深H1.7m 有効容量 49.5㎡ 満水位標高 HWL +3.85m 低水位標高 L W L +2.15m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 80 \times 8200$/分×63.0m×15.0kw 2台 次亜注入装置 38cc/分×200V×0.1kw 2台 (200L槽) 自家発電設備 45KVA
湖 陵 配 水 池	P C造り 内径14.7m×有効水深H5.0m 有効容量 843.35㎡ 満水位標高 HWL +60.0m 低水位標高 L W L +55.0m
姉 谷 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ室 C B造り6.76㎡ ポンプ井 R C造り 2.2m×2.3m×有効水深H1.2m 有効容量 6㎡ 満水位標高 HWL +30.00m 低水位標高 L W L +28.8m 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット $\phi 32 \times 1000$/分×54.0m×2.2kw 1組(2台) 自家発電設備 13KVA(手動)

施 設	施 設 概 要
蛇 池 ポ ン プ 場	ポンプ室 SUS製15㎡ ポンプ井 SUS製 1.5m×2.5m×有効水深H1.0m 有効容量 3.75m³ 満水位標高 HWL + 40.255m 低水位標高 LWL + 39.255m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 32 \times 60\ell/\text{分} \times 35.0\text{m} \times 1.5\text{kw}$ 2台 次亜注入装置 35cc/分×200V×0.03kw 2台 (50L槽)
蛇 池 配 水 池	SUS製 6.0m×6.0m×有効水深H2.8m 有効容量 100m³ 満水位標高 HWL + 64.055m 低水位標高 LWL + 61.255m
蛇 池 加 圧 ポ ン プ 所 (蛇池配水池内に設置)	ポンプ室 RC造り7.5㎡ ポンプ井 蛇池配水池 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット $\phi 25 \times 70\ell/\text{分} \times 30.0\text{m} \times 0.75\text{kw}$ 1組(2台)
下 畑 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ室 CB造り17.39㎡ ポンプ井 FRP製 2.5m×1.5m×有効水深H1.0m 有効容量 3.8m³ 満水位標高 HWL + 30.70m 低水位標高 LWL + 29.7m 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット $\phi 40 \times 142\ell/\text{分} \times 40.0\text{m} \times 2.2\text{kw}$ 1組(2台)
中 畑 ポ ン プ 場	ポンプ室 RC造り25㎡ ポンプ井 R造り 2.3m×2.3m×有効水深H1.0m 有効容量 5.3m³ 満水位標高 HWL + 54.2m 低水位標高 LWL + 53.2m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 40 \times 80\ell/\text{分} \times 80.0\text{m} \times 5.5\text{kw}$ 2台 次亜注入装置 82cc/分×200V×0.1kw 1台 (100L槽)
中 畑 配 水 池	RC造り 3.2m×3.2m×有効水深H1.6m 有効容量 16.4m³ 満水位標高 HWL + 124.0m 低水位標高 LWL + 122.4m

施 設	施 設 概 要		
中 山 第 1 ポ ン プ 場	ポンプ井	S U S 製	2.0×2.0×有効水深3.0m×2池
		有効容量	24m ³
		満水位標高	H W L + 23.95m
		低水位標高	L W L + 20.95m
	ポンプ室	S U S 製	
		送水ポンプ	立型ステンレス製多段ポンプ φ40×0.15 m ³ /分×110m×5.5kw×2台
		加圧ポンプ	直結給水ブースターポンプ 32A×0.08 m ³ /分×15m×0.4kw 1組(2台)
		次亜注入機室	S U S 製 2.5m×1.5m 3.75m ²
		次亜注入装置	液中バルブレス型 0.08~7.8m ³ /分×1.0Mpa×200V 2台
		次亜貯槽	角型密閉槽 PVC製 50ℓ
中 山 第 2 ポ ン プ 場	ポンプ井	S U S 製	1.0×2.0×有効水深2.5m×2池
		有効容量	10.0m ³
		満水位標高	H W L + 114.0m
		低水位標高	L W L + 111.5m
	ポンプ室	S U S 製	4.0m×5.0m 20.0m ²
中 山 配 水 池	配 水 池	S U S 製	2.5×6.0×有効水深2.5m×2池
		有効容量	75m ³
		満水位標高	H W L + 174.5m
		低水位標高	L W L + 172.5m
	加圧ポンプ室	S U S 製	6.0m×2.0m 12.0m ²
中 山 調 圧 槽	調 圧 槽	S U S 製	2.0×1.5×有効水深1.5m×2池
		有効容量	9.0m ³
		満水位標高	H W L + 96.1m
		低水位標高	L W L + 94.6m
	水位調整弁室	レジコン製柵	
河 原 谷 ポ ン プ 所	木造造り	4.3m ²	
	ポンプ井	F P R 製	0.5m ³
	送水ポンプ	受水槽付きポンプ	φ32×50ℓ/分×43m×2.2kw
河 原 谷 調 整 池	F R P 製		
	有効容量	0.5m ³	
	満水位標高	H W L + 49.00m	

施 設	施 設 概 要
繁 の 谷 ポ ン プ 所	木造造り 4.3㎡ ポンプ井 F P R 製 容量0.5㎡ 送水ポンプ 受水槽付きポンプ $\phi 32 \times 500$ /分 $\times 43$ m $\times 2.2$ kw
繁 の 谷 調 整 池	F R P 製 有効容量 0.5㎡ 満水位標高 H W L + 49.00m
樽 戸 谷 ポ ン プ 所	木造造り 4.3㎡ ポンプ井 F P R 製 容量0.5㎡ 送水ポンプ 受水槽付きポンプ $\phi 32 \times 500$ /分 $\times 43$ m $\times 2.2$ kw
樽 戸 谷 調 整 池	F R P 製 有効容量 0.5㎡ 満水位標高 H W L + 51.00m
谷 山 ポ ン プ 所	C B 造り 14.8㎡ ポンプ井 F R P 製 1.2㎡ (有効) 送水ポンプ $\phi 40 \times 1000$ /分 $\times 90$ m $\times 4$ kw 2 台
谷 山 調 整 池	F R P 製 有効容量 10㎡ 満水位標高 H W L + 93.00m
阿 式 谷 加 圧 ポ ン プ 所	木造造り 3.9㎡ 加圧ポンプ 圧力タンク付きポンプ $\phi 40 \times 1000$ /分 $\times 41$ m $\times 2.2$ kw
谷 山 加 圧 ポ ン プ 所 (谷 山 調 整 池 内 に 設 置)	ポンプ井 谷山調整池 加圧ポンプ $\phi 30 \times 1500$ /分 $\times 18.5$ m $\times 0.75$ kw 1組(2台)

3. 配水管等の布設状況

平成27年（2015）3月31日現在

（1）管種別延長

（単位：m）

管 種	取 水 管	導 水 管	送 水 管	配 水 管	合 計
鑄 鉄 管	1,512.0	7,815.3	29,774.4	431,839.4	470,941.1
石 綿 管					
ビ ニ ー ル 管		4,522.1	2,471.6	913,190.4	920,184.1
鋼 管		205.0	3,044.0	36,213.5	39,462.5
ポリエチレン管		0.0	2,578.0	12,973.4	15,551.4
合 計	1,512.0	12,542.4	37,868.0	1,394,216.7	1,446,139.1

注：平成26年度はアセットマネジメント実施のため、管路情報を
資産台帳からマッピングシステムの情報に修正

（2）配水管延長

（単位：m）

年 度 口 径	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)
50 mm 以下	465,557.9	468,810.7	641,523.5	650,333.8	634,638.3
65 mm	200.7	200.7	0.0	0.0	0.0
75 mm	214,025.6	216,076.5	232,350.6	232,594.5	236,941.7
100 mm	251,461.8	254,976.3	277,139.3	273,500.0	277,326.9
125 mm	296.1	296.1	131.5	131.5	131.5
150 mm	117,124.3	117,382.5	126,938.4	127,297.7	131,136.6
200 mm	48,989.9	49,444.5	57,273.1	52,496.1	55,191.0
250 mm	21,784.4	21,814.3	23,289.4	23,538.8	23,633.0
300 mm	9,064.1	9,064.1	9,478.8	11,007.8	11,410.8
350 mm	7,757.5	7,757.5	8,099.0	7,150.6	6,314.8
400 mm	5,445.0	5,445.0	5,600.9	5,600.9	5,654.7
450 mm	3,240.8	3,240.8	2,933.3	3,005.1	3,345.1
500 mm	2,257.8	2,257.8	1,673.7	1,674.0	2,212.0
600 mm	249.4	279.8	110.0	110.0	1,309.3
700 mm	4,124.0	4,977.9	4,767.2	4,767.2	4,971.0
合 計	1,151,579.3	1,162,024.5	1,391,308.7	1,393,208.0	1,394,216.7

(3) 導水管延長

(単位：m)

年 度 口 径	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)
300mm未満	2,211.3	2,484.2	2,209.0	2,504.9	4,882.5
300mm～500mm未満	3,509.9	3,511.3	5,029.0	5,029.5	3,389.3
500mm～1000mm未満	8,615.3	8,723.4	8,723.0	8,396.7	5,782.6
合 計	14,336.5	14,718.9	15,961.0	15,931.1	14,054.4

(4) 送水管延長

(単位：m)

年 度 口 径	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)
300mm未満	9,118.9	10,640.7	25,630.3	26,731.0	27,955.2
300mm～500mm未満	6,954.9	6,954.9	7,091.0	7,129.2	6,057.4
500mm～1000mm未満	4,007.8	4,007.8	4,007.8	4,007.8	3,855.4
合 計	20,081.6	21,603.4	36,729.1	37,868.0	37,868.0

4. 消火栓設置数

(単位：基)

年 度 口 径	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)
地 上 式	10	10	10	10	10
地 下 式	1,401	1,409	1,476	1,476	1,476
合 計	1,411	1,419	1,486	1,486	1,486

5. 簡易専用水道施設件数

(簡易水道エリアを含む。平成23年度からは斐川地域を含む)

年 度 口 径	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)
前 年 度 末	179件	193件	195件	200件	200件
新 設	4件	3件	6件	2件	3件
廃 止	△2件	△1件	△1件	△2件	△4件
合 計	181件	195件	200件	200件	199件

※簡易専用水道とは、受水槽の有効容量の合計が10m³を超えるもの

6. 主要施設所在地

主 要 施 設 名					所 在 地		
来	原	浄	水	場	大津町1496番地		
上	津	浄	水	場	上島町2800番地		
灘	分	浄	水	場	灘分町943番地1		
金	山	浄	水	場	国富町1852番地1		
上	島	水	源	地	上島町2764番地1		
向	山	配	水	池	大津町3629番地3		
新	向	山	配	水	池	大津町3636番地	
七	面	山	配	水	池	大津町3661番地1	
愛	宕	山	配	水	池	平田町6135番地1	
浜	ポ	ン	プ	場	浜町567番地3		
浜	山	配	水	池	浜町2040番地		
西	園	ポ	ン	プ	場	西園町3936番地1	
妙	見	山	配	水	池	西園町4027番地6	
砂	子	ポ	ン	プ	場	湖陵町二部1205番地10	
湖	陵	配	水	池	湖陵町大池2188番地		
坂	本	ポ	ン	プ	場	西神西町103番地6	
新	常	楽	寺	配	水	池	湖陵町常楽寺918番地5
金	山	配	水	池	国富町1856番地1		
苅	藻	谷	配	水	池	多久町1411番地4	
北	山	ポ	ン	プ	場	矢尾町920番地5	
北	山	配	水	池	矢尾町805番地1		
奥	井	谷	配	水	池	上島町1110番地7	
宇	那	手	ポ	ン	プ	場	宇那手町362番地3
大	平	配	水	池	宇那手町106番地2		
本	郷	配	水	池	園町692番地4		
差	海	ポ	ン	プ	場	湖陵町差海56番地2	
差	海	配	水	池	湖陵町差海581番地		
朝	山	ポ	ン	プ	場	朝山町552番地4	
朝	山	配	水	池	朝山町1675番地12		
伊	野	配	水	池	野郷町3213番地2		
岩	倉	ポ	ン	プ	場	稗原町4758番地13	
岩	倉	配	水	池	稗原町4761番地27		

Ⅲ 業務の概要

復興の 未来と生命（いのち） 照らす水

平成二十五年度 第五十五回水道週間スローガン

1. 薬品使用状況

年 度	苛 性 ソ ー ダ (kg)	ポ リ 塩 化 ア ル ミ ニ ウ ム (kg)	次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ (kg)
平成15(2003)	83,953.1	46,777.0	94,507.0
平成16(2004)	65,241.9	43,770.0	121,410.0
平成17(2005)	73,593.4	54,920.0	127,744.5
平成18(2006)	89,944.6	78,982.7	144,695.0
平成19(2007)	122,987.1	107,381.5	159,539.5
平成20(2008)	131,015.1	98,977.4	152,580.0
平成21(2009)	99,394.0	103,460.0	165,150.0
平成22(2010)	104,274.0	102,950.0	188,330.0
平成23(2011)	108,444.0	114,780.0	190,318.0
平成24(2012)	111,094.0	95,260.0	164,570.0
平成25(2013)	104,846.0	94,180.0	146,980.0
平成26(2014)	103,587.0	91,600.0	173,590.0

※平成15（2003）年度は旧出雲市の数値

2. 主要施設電力使用状況

(単位：kwh)

年 度	来原浄水場	上島水源地 上津浄水場	西ポンプ 園場	灘分浄水場	金山浄水場	浜ポンプ場	平第3水源地 田地
平成17 (2005)	3,546,150	1,878,750	109,375	1,133,941	49,931	—	303,072
平成18 (2006)	3,618,510	1,863,170	107,710	1,128,972	150,330	288,158	298,256
平成19 (2007)	4,301,340	2,061,420	112,886	1,131,180	152,309	297,961	304,804
平成20 (2008)	4,196,270	2,065,510	110,309	1,074,672	155,315	283,661	297,044
平成21 (2009)	4,160,736	2,208,967	110,739	1,092,150	158,398	290,047	304,760
平成22 (2010)	4,357,536	2,320,172	113,326	1,151,376	163,554	303,461	324,812
平成23 (2011)	4,402,248	2,355,144	113,552	1,110,048	164,565	311,552	309,036
平成24 (2012)	4,485,120	2,783,856	113,195	1,097,796	155,020	315,163	300,560
平成25 (2013)	4,273,032	3,010,224	106,817	1,075,488	150,170	315,784	286,152
平成26 (2014)	4,439,544	2,856,120	112,997	1,026,678	135,576	317,537	269,224

3. 業務量の推移

年 度 項 目		説 明	平成17 (2005)	平成18 (2006)	平成19 (2007)
行政区域内人口 (A)	人	年 度 末 の 行 政 区 域 内 人 口	148,624	148,520	148,168
計画給水人口 (B)	人	認 可 事 業 計 画 の 給 水 人 口	140,590	140,590	140,590
給水区域内人口 (C)	人	年 度 末 の 給 水 区 域 内 人 口	126,341	126,471	126,593
給 水 人 口 (D)	人	(C) - (給水区域内 の 未 給 水 人 口)	123,376	123,637	123,797
給 水 区 域 内 普 及 率	%	$\frac{(D)}{(C)}$	97.7	97.8	97.8
給 水 戸 数	戸	年 度 末 の 給 水 中 世 帯 数	40,858	41,473	42,028
年 間 配 水 量 (E)	千m ³	配 水 池 か ら 送 出 し た 年 間 水 量	15,949	15,941	16,119
1 日 平 均 配 水 量	m ³	$\frac{(E)}{(\text{年間日数})}$	43,697	43,673	44,042
1 日 最 大 配 水 量 (F)	m ³	1 日 配 水 量 値 実 績 の 最 大 値	49,455	52,265	52,109
1 人 1 日 平 均 配 水 量	ℓ	$\frac{(E) - (\text{年間分水量})}{(D) \times (\text{年間日数})}$	347	346	356
1 人 1 日 最 大 配 水 量	ℓ	$\frac{(F) - (\text{当日の分水量})}{(D)}$	392	413	411
年 間 給 水 量 (G) (年 間 有 収 水 量)	千m ³	水 道 料 金 収 入 の 対 象 と な っ た 年 間 水 量	14,795	14,782	14,731
有 収 率	%	$\frac{(G)}{(E)}$	92.8	92.7	91.4
1 日 平 均 有 収 水 量	m ³	$\frac{(G)}{(\text{年間日数})}$	40,535	40,499	40,249
給 水 単 価	円/m ³	1 m ³ の水の料金収入額	140.92	141.00	145.60
給 水 原 価	円/m ³	1 m ³ の水を製造する た め に 要 す る 費 用	129.96	136.36	142.92
職 員 数	人	水 道 局 職 員 数 (管 理 者 を 除 く)	38	41	39

平成20 (2008)	平成21 (2009)	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)
147, 276	147, 384	147, 125	174, 960	174, 702	174, 505	174, 538
140, 590	133, 300	133, 300	133, 300	133, 300	133, 300	133, 300
126, 038	126, 560	126, 520	126, 728	132, 245	132, 227	132, 561
123, 332	123, 933	123, 920	124, 794	130, 332	130, 486	130, 926
97. 9	97. 9	97. 9	98. 5	98. 6	98. 7	98. 8
42, 022	42, 737	43, 236	43, 717	46, 138	46, 718	47, 624
15, 666	15, 428	15, 898	15, 868	16, 193	15, 905	15, 643
42, 921	42, 269	43, 556	43, 354	44, 365	43, 577	42, 858
50, 391	47, 704	50, 889	49, 682	50, 865	49, 141	47, 945
341	334	345	341	340	334	327
410	377	399	405	390	377	366
14, 558	14, 319	14, 603	14, 507	14, 757	14, 571	14, 285
92. 9	92. 8	91. 9	91. 4	91. 1	91. 6	91. 3
39, 886	39, 230	40, 008	39, 635	40, 430	39, 921	39, 137
146. 34	145. 94	145. 95	145. 88	157. 93	160. 21	159. 89
142. 92	150. 85	145. 28	151. 57	160. 31	159. 60	169. 50
38	38	39	39	39	39	39

4. 出雲市上下水道給水戸数及び給水人口(出雲市上下水道局所管分)

(平成27年3月31日現在)

(平成27年(2015)3月31日現在 出雲市総人口)				(給水区域外戸数・人口)				(給水区域内戸数・人口)			
地区名	世帯数(戸)	人口(人)		世帯数(戸)	人口(人)			世帯数(戸)	人口(人)		
今市	2,748	6,591		0	0			2,748	6,591		
大津	3,791	9,535		0	0			3,791	9,535		
塩冶	6,456	15,060		0	0			6,456	15,060		
古志	728	2,048		1	2			727	2,046		
高松	3,605	10,127		0	0			3,605	10,127		
四絡	4,618	11,225		0	0			4,618	11,225		
高浜	1,198	3,788		0	0			1,198	3,788		
川跡	3,596	9,689		0	0			3,596	9,689		
鳶巣	479	1,571		1	4			478	1,567		
上津	398	1,333		0	0			398	1,333		
稗原	564	1,890		1	4			563	1,886		
朝山	566	1,891		6	21			560	1,870		
乙立	219	678		219	678			0	0		
神門	2,487	7,423		0	0			2,487	7,423		
神西	1,322	3,724		15	15			1,307	3,709		
長浜	1,718	5,087		0	0			1,718	5,087		
平成	0			0	0			0	0		
出雲地域合計	34,493	91,660		243	724			34,250	90,936		
平田	2,272	6,924		0	0			2,272	6,924		
灘分	1,073	3,604		100	365			973	3,239		
国富	889	3,047		0	0			889	3,047		
西田	591	1,760		181	626			410	1,134		
鰐淵	238	692		238	692			0	0		
久多美	722	2,259		0	0			722	2,259		
桧山	427	1,420		13	47			414	1,373		
東	850	2,670		22	63			828	2,607		
北浜	412	1,174		412	1,174			0	0		
佐香	540	1,532		540	1,532			0	0		
伊野	425	1,360		2	3			423	1,357		
平田地域合計	8,439	26,442		1,508	4,502			6,931	21,940		
朝原	69	186		69	186			0	0		
須佐	125	395		125	395			0	0		
原田	80	261		80	261			0	0		
大呂	168	526		168	526			0	0		
反辺	211	651		211	651			0	0		
吉野	23	75		23	75			0	0		
一建田	245	610		245	610			0	0		
毛津	33	117		33	117			0	0		
佐津目	29	111		29	111			0	0		
高津屋	12	33		12	33			0	0		
下橋波	43	142		43	142			0	0		
上橋波	32	83		32	83			0	0		
東村	61	169		61	169			0	0		
八幡原	92	283		92	283			0	0		
佐田地域合計	1,223	3,642		1,223	3,642			0	0		
神原	17	48		17	48			0	0		
奥田儀	62	149		62	149			0	0		
口田儀	323	903		323	903			0	0		
小田	411	1,102		411	1,102			0	0		
多岐	250	667		250	667			0	0		
久村	289	821		289	821			0	0		
多伎地域合計	1,352	3,690		1,352	3,690			0	0		
畑村	33	86		4	13			29	73		
常楽寺	124	359		0	0			124	359		
三部	357	1,028		0	0			357	1,028		
二部	337	970		0	0			337	970		
大池	514	1,265		0	0			514	1,265		
板津	211	559		0	0			211	559		
差海	477	1,163		0	0			477	1,163		
湖陵地域合計	2,053	5,430		4	13			2,049	5,417		
遥堰	372	1,051		2	5			370	1,046		
菱根	186	573		0	0			186	573		
入南	218	763		0	0			218	763		
中荒木	603	2,001		0	0			603	2,001		
北荒木	954	2,719		0	0			954	2,719		
修理免	480	1,419		0	0			480	1,419		
杵築東	347	916		0	0			347	916		
杵築南	677	1,856		0	0			677	1,856		
杵築西	754	1,897		0	0			754	1,897		
杵築北	363	967		1	5			362	962		
日御碕	133	404		99	288			34	116		
宇龍	122	328		122	328			0	0		
鷺浦	91	175		91	175			0	0		
鵜峠	37	58		37	58			0	0		
大社地域合計	5,337	15,127		352	859			4,985	14,268		
阿宮	132	434		132	434			0	0		
出西	22	80		22	80			0	0		
斐川地域合計	154	514		154	514			0	0		
計	(行政区域内戸数・人口)			(給水区域外戸数・人口)				(給水区域内戸数・人口)			
	53,051	146,505		4,836	13,944			48,215	132,561		

※斐川央道水道事業団給水区域

斐川地域	8,987	28,033
合計	62,038	174,538

0	0
(給水区域外戸数・人口)	
4,836	13,944

8,987	28,033
(給水区域内戸数・人口)	
57,202	160,594

27	95
(給水区域内未給水戸数・人口)	
618	1,730

8,960	27,938
(給水戸数・人口)	
56,584	158,864

(給水区域内未給水戸数・人口)				(給水区域外未給水戸数・人口)			
世帯数(戸)	人口(人)			世帯数(戸)	人口(人)		
0	0			0	0		
1	1			0	0		
6	13			0	0		
2	4			1	2		
8	19			0	0		
0	0			0	0		
3	16			0	0		
0	0			0	0		
4	14			0	0		
1	2			1	2		
8	21			0	0		
3	7			0	0		
0	0			0	0		
62	170			3	5		
1	2			5	8		
5	14			0	0		
0	0			0	0		
104	283			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0			0	0		
0	0						

平成26年度
水質基準項目検査（浄水）

	主な配水区域	上津・稗原・乙立地区を除く出雲地域、大社地域の内、杵築・荒木・遥堀地区、湖陵地域全域												
分析項目	採水場所 基準値	来原配水系												
		来原浄水場	七面山配水系	向山配水系										
			出雲市上下水道局	崎屋ふれあい会館	妙見山配水系 リバーサイドタウン 集会所	北山配水系 鳶巣 コミュニティセンター	新宮配水系 上新宮ポンプ場	朝山配水系 畑加圧ポンプ場	浜山配水系		常楽寺配水系	湖陵配水系	差海配水系	
									石臼 総合センター	中山配水系 中山地内民家	畑村公民館	蛇池会館	川前地内民家	
一般細菌	100個/ml以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
カドミウム及びその化合物	0.01mg/l以下	0.0003 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満	※	※	※
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	※	※	※
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	0.34	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.10 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.004 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
トリクロロエチレン	0.03mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
塩素酸	0.6mg/l以下	0.06 未満	0.1	0.08	0.06	0.1	0.07	0.11	0.06	0.12	0.08	0.12	0.06	
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.002	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ジクロロ酢酸	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.002	0.002	0.003	0.003	0.004	0.005	0.003	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004
臭素酸	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.002	0.004	0.006	0.006	0.009	0.011	0.006	0.013	0.009	0.008	0.007	
トリクロロ酢酸	0.2mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	0.004	0.003	0.002	0.002	0.002
ブロモホルム	0.09mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.008	0.007	0.005 未満	※	0.011	0.008	0.005 未満	※	0.009	0.010	※	※	
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満	※	※	※
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	※	※	※
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	※	0.01	0.01 未満	0.01 未満	※	0.01 未満	0.01 未満	※	※	※
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	13.8	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	※	※	※
塩化物イオン	200mg/l以下	11.6	12.4	12	11.7	11.9	11.7	12.1	11.7	12.4	12	12.1	12.0	
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/l以下	27.8	25.0	26.1	※	28.0	30.3	31.9	※	25	28.4	※	※	※
蒸発残留物	500mg/l以下	82	92	118	※	92	114	90	※	94	88	※	※	※
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
ジェオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	※	※	※
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	※	※	※
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/l以下	0.3	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満
pH値	5.8以上8.6以下	7.0	7.1	7	7.3	7.2	7.5	7.7	7.1	7.3	7.3	7.7	7.4	
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満
濁度	2度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満

平成26年度
水質基準項目検査（浄水）

	主な配水区域	上津・稗原地区				灘分・平田・西代・東郷・東福・久多見・ 野石谷・岡田・上岡田・多久谷・多久・ 園・鹿園寺・小境地区など	国富・口宇賀・西郷 万田・本庄地区		美野・野郷・地合地区				
分析項目	採水場所 基準値	上津配水系				灘分配水系		金山配水系		県受水系			
		上津浄水場	大平配水系		延畑配水系	灘分浄水場	小境第4区 集会所	金山浄水場	西谷生活 改善センター	三代浄水場 (県企業局)	伊野配水系		本郷配水系
			岩倉ポンプ場	岩倉配水系 仏谷加圧 ポンプ場	西谷ポンプ場						東第4分団 格納庫	地合配水系 西地合集会所	
一般細菌	100個/ml以下	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
カドミウム及びその化合物	0.01mg/l以下	0.0003 未満	※	※	0.0003 未満	※	※	0.0003 未満	※	0.0003 未満	※	※	※
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005 未満	※	※	0.00005 未満	※	※	0.00005 未満	※	0.00005 未満	※	※	※
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	0.001 未満	0.002	※	0.001 未満	0.001	0.001 未満	※	0.001 未満	※
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	※
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	2.01	※	※	0.43	※	※	0.02 未満	※	0.31	※	※	※
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08 未満	※	※	0.08 未満	※	※	0.16	※	0.08 未満	※	※	※
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.10 未満	※	※	0.10 未満	※	※	0.10 未満	※	0.10 未満	※	※	※
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002 未満	※	※	0.0002 未満	※	※	0.0002 未満	※	0.0002 未満	※	※	※
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	0.005 未満	※	※	0.005 未満	※	0.005 未満	※	※	※
シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.004 未満	※	※	0.004 未満	※	※	0.004 未満	※	0.004 未満	※	※	※
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	0.002 未満	※	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	※	※
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
トリクロロエチレン	0.03mg/l以下	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
塩素酸	0.6mg/l以下	0.07	0.1	0.19	0.23	0.24	0.26	0.06 未満	0.06 未満	0.06 未満	0.06 未満	0.09	0.1
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.001 未満	0.002	0.002	0.001	0.004	0.005	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.008	0.01	0.007
ジクロロ酢酸	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.004	0.004	0.003	0.005	0.007	0.001 未満	0.002	0.001	0.005	0.006	0.005
臭素酸	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.011	0.011	0.008	0.016	0.021	0.001 未満	0.005	0.001	0.021	0.026	0.019
トリクロロ酢酸	0.2mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ブロモクロロメタン	0.03mg/l以下	0.001 未満	0.004	0.004	0.003	0.006	0.007	0.001 未満	0.002	0.001 未満	0.008	0.009	0.007
ブロモホルム	0.09mg/l以下	0.001 未満	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001 未満	0.001	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.001 未満
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008 未満	※	※	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.005 未満	※	※	0.008	0.011	※	0.005 未満	0.022	0.005 未満	※	0.007	※
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	※	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	※
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03 未満	※	※	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	※
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.01 未満	※	※	0.02	0.03	※	0.01 未満	0.01	0.01 未満	※	0.01	※
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	9.6	※	※	8.2	※	※	21.6	※	9.4	※	※	※
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	※
塩化物イオン	200mg/l以下	13.2	13.3	13.5	9.1	8.9	9.2	17	15.4	8.8	7.8	7.9	7.9
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/l以下	33.3	※	※	20.9	18.7	※	68.4	53.7	21.6	※	21.4	※
蒸発残留物	500mg/l以下	102	※	※	76	72	※	204	168	71	※	66	※
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	※	0.02 未満	※	※	0.02 未満	※	0.02 未満	※	※	※
ジェオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	※	※	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	※
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	※	※	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	※
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005 未満	※	※	0.0005 未満	※	※	0.0005 未満	※	0.0005 未満	※	※	※
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	3mg/l以下	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.5	0.3 未満	0.3 未満	0.5	0.6	0.6	0.6
pH値	5.8以上8.6以下	7.0	7.1	7.2	6.7	6.7	7	7.1	7.2	6.9	7.4	7.4	7.4
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5度以下	0.5	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.7
濁度	2度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満

6. 検針・収納状況

(1) メーター設置数

(単位：台)

口径 年度	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	合計
平成13 (2001)	22,508	8,024	964	—	316	62	26	4	3	2	1	31,910
平成14 (2002)	22,493	8,044	962	—	323	63	25	3	3	2	1	31,919
平成15 (2003)	22,432	8,285	968	—	331	65	25	3	3	2	1	32,115
平成16 (2004)	31,673	9,543	1,164	46	400	125	33	3	2	2	0	42,991
平成17 (2005)	33,613	10,018	1,192	46	427	133	33	4	2	2	0	45,470
平成18 (2006)	33,870	10,052	1,191	43	436	131	32	4	2	2	0	45,763
平成19 (2007)	34,739	10,377	1,191	52	446	135	34	4	2	2	0	46,982
平成20 (2008)	34,846	10,614	1,176	52	445	136	35	4	2	2	0	47,312
平成21 (2009)	35,093	10,878	1,192	57	452	133	35	4	2	2	0	47,848
平成22 (2010)	35,262	11,163	1,193	59	456	131	33	4	2	2	0	48,305
平成23 (2011)	35,705	11,440	1,197	57	461	129	33	4	2	2	0	49,030
平成24 (2012)	37,337	12,403	1,213	60	481	134	34	4	2	2	0	51,670
平成25 (2013)	37,657	12,832	1,231	65	484	133	34	4	2	2	0	52,444
平成26 (2014)	37,994	13,173	1,236	70	484	133	33	4	2	2	0	53,131

※平成15（2003）年度までは旧出雲市の数値

(2) 口径別検針件数(上水)

【出雲地域】

(単位：件)

口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	3 0 mm	4 0 mm	5 0 mm	7 5 mm	1 0 0 mm	1 5 0 mm	2 0 0 mm	合計
出雲	149,086	75,883	6,159	114	2,002	337	120	18	6	12	233,737

【平田地域】

(単位：件)

口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	3 0 mm	4 0 mm	5 0 mm	7 5 mm	1 0 0 mm	合計
平田	39,863	6,118	997	166	370	168	56	6	47,744

【大社地域】

(単位：件)

口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	3 0 mm	4 0 mm	5 0 mm	合計
大社	22,697	3,186	298	99	170	119	26,569

【湖陵地域】

(単位：件)

口径	1 3 mm	2 0 mm	2 5 mm	3 0 mm	4 0 mm	5 0 mm	7 5 mm	合計
湖陵	7,694	4,379	135	7	73	42	6	12,336

(3) 収納形態別件数

年度	調定件数	口座振替 (件)	利用率 (%)	納付組合等 (件)	利用率 (%)	自主納付他 (件)	利用率 (%)
平成16 (2004)	343,081	269,285	78.5	23,486	6.8	50,310	14.7
平成17 (2005)	348,186	290,269	83.4	0	0	57,917	16.6
平成18 (2006)	352,086	294,407	83.6	0	0	57,679	16.4
平成19 (2007)	291,053	237,913	81.7	0	0	53,140	18.3
平成20 (2008)	290,414	236,907	81.6	0	0	53,507	18.4
平成21 (2009)	291,058	239,985	82.5	0	0	51,073	17.5
平成22 (2010)	293,827	241,979	82.4	0	0	51,848	17.6
平成23 (2011)	297,051	245,710	82.7	0	0	51,341	17.3
平成24 (2012)	312,373	259,632	83.1	0	0	52,741	16.9
平成25 (2013)	316,241	263,138	83.2	0	0	53,103	16.8
平成26 (2014)	320,386	265,928	83.0	0	0	54,458	17.0

7. 料金の変遷

【出雲地区】

区 分			S 33. 4～S 37. 11			S 37. 12～S 43. 3		
			用 途 別	算 定 基 準	料 金	用 途 別	算 定 基 準	料 金
上 計 専 量 用 給 水 道	水	給 水	家 事 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	115 円 17	家 事 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	150 円 22
			営 業 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	185 20	営 業 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	240 26
			工 業 用	200 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	3,500 20	工 業 用	200 m ³ まで 200 m ³ をこえ 1,000 m ³ まで (1 m ³ につき) 1,000 m ³ をこえ 3,000 m ³ まで 3,000 m ³ 以上	4,550 25 23 21
			湯 屋 用	100 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	1,150 15	湯 屋 用	100 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	1,150 20
			官 公 署・学 校・ 病院・会 社・団 体 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	325 18	官 公 署・学 校・ 病院・会 社・団 体 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	425 24
			娛 楽 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	850 100			
			臨 時 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	500 40	臨 時 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	650 50
			公 衆 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	100 10	公 衆 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	130 30
			公 設 共 用	5 m ³ まで(1 戸当り) 超過 1 m ³ につき	65 15	公 設 共 用	5 m ³ まで(1 戸当り) 超過 1 m ³ につき	85 20
			私 設 共 用	5 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	65 15			
			家 事 用	家族数 5 人まで 家族数 1 人増すごとに	250 50	家 事 用	家族数 5 人まで 家族数 1 人増すごとに	300 60
			営 業 用		500			
簡 計 専 量 用 給 水 道	水	給 水	家 事 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	200 10	分 水	S 42. 9～ 1 m ³ 当り	27. 24
			営 業 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	300 20			
			工 業 用	50 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	800 20			
			官 公 署・学 校・ 会 社 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	300 15			
			臨 時 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	500 20			

区分	S 43. 4 ～ S 47. 3			S 47. 4 ～ S 50. 6		
	用 途 別	算 定 基 準	料 金	用 途 別	算 定 基 準	料 金
上 水 道	家 事 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	200 円 25	家 事 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	250 円 32
	営 業 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	300 30	営 業 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	390 39
	工 業 用	200 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	5, 200 26	工 業 用	1000 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	35, 000 35
	湯 屋 用	100 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	2, 000 20	湯 屋 用	100 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	2, 000 20
	官 公 署 ・ 学 校 ・ 病院 ・ 会 社 ・ 団 体 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	540 27	官 公 署 ・ 学 校 ・ 病院 ・ 会 社 ・ 団 体 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	360 36
	臨 時 用	20 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	1, 000 50			
	公 衆 用	10 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	180 18	公 衆 用	8 m ³ まで 超過 1 m ³ につき	250 25
	公 設 共 用	5 m ³ まで (1 戸 当 り) 超過 1 m ³ につき	110 22			
簡 易 水 道	分 水	1 m ³ 当 り	27. 24	分 水	S 47. 9 まで 1 m ³ 当 り	27. 24
					S 47. 10 ～ 1 m ³ 当 り	35. 07

区分	S 50. 7 ～ S 56. 3			S 56. 4 ～ S 59. 5		
	用途別	算定基準	料金	用途別	算定基準	料金
水道	家事用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえるもの	340 円 (1 m ³ につき) 45 48	家事用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえ25 m ³ まで 25 m ³ をこえるもの	460 円 (1 m ³ につき) 61 67 73
	営業用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえるもの	550 (1 m ³ につき) 58 61 64	営業用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	790 (1 m ³ につき) 83 89 95 101
	団体用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえるもの	500 (1 m ³ につき) 53 56 59	団体用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	710 (1 m ³ につき) 75 81 87 93
	湯屋用	1 m ³ につき	30	湯屋用	1 m ³ につき	39
	分 水	S 50. 7 ～ 1 m ³ 当り S 50. 10 ～ 契約水量を超過した場合、違約金として、超過水量に対し52. 44円×1/2を加算徴収 S 52. 4 ～ 同上1/2を1/4に変更	52. 44	分 水	S 56. 4 ～ 1 m ³ 当り	84. 91

区分	S 59. 6 ～ H 4. 5			H 4. 6 ～ H12. 3		
	用途別	算定基準	料金	用途別	算定基準	料金
上水道	家事用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえ25 m ³ まで 25 m ³ をこえるもの	570 円 (1 m ³ につき) 77 84 92	家事用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16 m ³ まで 16 m ³ をこえ25 m ³ まで 25 m ³ をこえるもの	700 円 (1 m ³ につき) 92 101 111
	事業用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	950 (1 m ³ につき) 101 109 117 124	事業用	10 m ³ まで 10 m ³ をこえ20 m ³ まで 20 m ³ をこえ50 m ³ まで 50 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	1,150 (1 m ³ につき) 119 129 140 151
	湯屋用	1 m ³ につき	45	湯屋用	1 m ³ につき	50
	分水	S 59. 6 ～ 1 m ³ 当り	98.31	分水	H 4. 6 ～ 1 m ³ 当り	117
	備考	H 元. 4 から消費税 3 % を加算		備考	H 9. 4 から消費税及び地方消費税 5 % を加算	

【平田地区】

区分	H12. 4～H19. 5			種別	S 59. 7～H19. 5		
	用途別	算定基準	料金		用途別	算定基準	料金
上水道	家事用	8 m ³ まで	805 円 (1 m ³ につき)	専用給水装置	一般用	基本料金 7 m ³ まで (基本水量)	800 円
		8 m ³ をこえ16m ³ まで	106			超過料金 (1 m ³ につき) 7 m ³ をこえ30m ³ まで 30 m ³ をこえ100m ³ まで 100m ³ をこえるもの	135 140 145
		16 m ³ をこえ25m ³ まで	116				
		25 m ³ をこえるもの	128				
	事業用	10 m ³ まで	1,320 (1 m ³ につき)	共用給水装置	特殊用 (船舶、プール及びその他臨時用)	1 m ³ につき	205
		10 m ³ をこえ20m ³ まで	137				
下水道		20 m ³ をこえ50 m ³ まで	148	共用給水装置	一般用	基本料金 7 m ³ まで (基本水量)	800
		50 m ³ をこえ100 m ³ まで	161			超過料金 (1 m ³ につき) 7 m ³ をこえ30 m ³ まで 30 m ³ をこえ100 m ³ まで 100 m ³ をこえるもの	135 140 145
		100 m ³ をこえるもの	174				
	湯屋用	1 m ³ につき	58				
	分水	1 m ³ 当り	134.55				
	備考	H12. 6 検針分から適用					

【大社地区】

種 別	H12.12～H19.5		
	用 途 別	算 定 基 準	料 金
上 水 道	一 家 事 用	8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16m ³ まで 16m ³ をこえるもの	1,610 円 (1 m ³ につき) 190 200
	営 業 用	15m ³ まで 15m ³ をこえ50m ³ まで 50m ³ をこえるもの	3,200 (1 m ³ につき) 220 230
	官 公 署・ 学 校 用	10m ³ まで 10m ³ をこえ30m ³ まで 30m ³ をこえるもの	2,250 (1 m ³ につき) 220 230
	事 業 所・ 工 事 用	10m ³ まで 10m ³ をこえ30m ³ まで 30m ³ をこえるもの	2250 (1 m ³ につき) 220 230
	工 場 用	20m ³ まで 20m ³ をこえ50m ³ まで 50m ³ をこえるもの	4,500 (1 m ³ につき) 220 230
		100m ³ まで 100をこえ200m ³ まで 200m ³ をこえるもの	21,600 (1 m ³ につき) 220 230
	船 舶 用	1 m ³ につき	290
	工 事 そ の 他 臨 時 用	1 m ³ につき	290
	そ の 他	1 m ³ につき	290
共 用	共 用 栓	1 世帯につき 8 m ³ まで 8 m ³ をこえ16m ³ まで 16m ³ をこえるもの	1,610 (1 m ³ につき) 190 200

【湖陵地区】

種 別	H12.10～H19.5		
	用 途 別	算 定 基 準	料 金
上 水 道	家事用	1m ³ まで 1m ³ をこえ8m ³ まで	600 円 1,020 (1 m ³ につき)
		8m ³ をこえ20m ³ まで 20m ³ をこえ30m ³ まで 30m ³ をこえるもの	130 155 210
	官公署用 (前年度中 の月間最大 給水量が30 m ³ 以下の場 合)	1m ³ まで 1m ³ をこえ10m ³ まで	770 1,540 (1 m ³ につき)
		10m ³ をこえ30m ³ まで 30m ³ をこえ50m ³ まで 50m ³ をこえるもの	165 175 185
道	官公署用 (前年度中 の月間最大 給水量が30 m ³ を超える 場合)	1m ³ まで 1m ³ をこえ50m ³ まで	4,950 7,700 (1 m ³ につき)
		50m ³ をこえ500m ³ まで 500m ³ をこえ2,000m ³ まで 2,000m ³ をこえるもの	180 185 190
道	事業用	1m ³ まで 1m ³ をこえ20m ³ まで	2,200 3,300 (1 m ³ につき)
		20m ³ をこえ50m ³ まで 50m ³ をこえ100m ³ まで 100m ³ をこえ300m ³ まで 300m ³ をこえ800m ³ まで 800m ³ をこえ1,500m ³ まで 1,500m ³ をこえるもの	185 200 215 225 240 250

【合併後統一】

【現 在】

区分	H19. 6 ～H24. 5			区分	H24. 6 ～			
	口 径 別	算 定 基 準	料 金		口 径 別	算 定 基 準	料 金	
上 水 道	13mm	8 ㎡まで	930 円 (1 ㎡につき)	13mm	8 ㎡まで	1,050 円 (1 ㎡につき)		
	20mm	8 ㎡をこえ16㎡まで	117	20mm	8 ㎡をこえ16㎡まで	132		
	25mm	16㎡をこえ25㎡まで	128	25mm	16㎡をこえ25㎡まで	144		
		25㎡をこえ50㎡まで	141		25㎡をこえ50㎡まで	159		
		50㎡をこえ100㎡まで	184		50㎡をこえ100㎡まで	192		
		100㎡をこえるもの	190		100㎡をこえるもの	198		
	30mm	8 ㎡まで	1,580	30mm	8 ㎡まで	1,650		
	40mm	8 ㎡まで	1,650	40mm	8 ㎡まで	1,720		
	50mm	8 ㎡まで	2,180	50mm	8 ㎡まで	2,270		
	75mm	8 ㎡まで	2,580	75mm	8 ㎡まで	2,690		
100mm	8 ㎡まで	2,990	100mm	8 ㎡まで	3,120			
150mm	8 ㎡まで	8,240	150mm	8 ㎡まで	8,590			
200mm	8 ㎡まで	17,050	200mm	8 ㎡まで	17,770			
上 水 道	30mm	8 ㎡をこえ16㎡まで 16㎡をこえ25㎡まで 25㎡をこえ50㎡まで 50㎡をこえ100㎡まで 100㎡をこえるもの	(1 ㎡につき) 159 166 172 184 190	30mm	8 ㎡をこえ16㎡まで 16㎡をこえ25㎡まで 25㎡をこえ50㎡まで 50㎡をこえ100㎡まで 100㎡をこえるもの	(1 ㎡につき) 166 173 179 192 198		
	40mm							
	50mm							
	75mm							
	100mm							
	150mm							
	200mm							
	分 水			1 ㎡当り			148. 71	分 水
	備 考	H19. 6 検針分から適用 地域ごとに異なっていた水道料金を統一 「用途別料金体系」に変更 料金は消費税抜き			備 考	H24. 6 検針分から適用 湖陵・差海簡易水道を上水道へ統合したことに伴い、分水は廃止 料金は消費税抜き H26. 4 から消費税及び地方消費税 8 %を加算		

8. 加入金の変遷

【出雲地域】

口 径	S 50. 7 ～52. 3	S 52. 4 ～56. 3	S 56. 4 ～59. 5	S 59. 6 ～H19. 3
13mm	18, 000	18, 000	36, 000	47, 000
20mm	38, 000	38, 000	76, 000	99, 000
25mm	80, 000	80, 000	160, 000	210, 000
30mm	—	—	—	—
40mm	250, 000	250, 000	500, 000	650, 000
50mm	430, 000	430, 000	860, 000	1, 120, 000
75mm	1, 300, 000	1, 300, 000	2, 600, 000	3, 300, 000
100mm	2, 500, 000	2, 500, 000	5, 000, 000	6, 500, 000
150mm	6, 000, 000	6, 000, 000	管理者が 別に定める	管理者が 別に定める
200mm	—	13, 000, 000	〃	〃
250mm	—	23, 000, 000	〃	〃

(単位：円、消費税抜き)

【平田地域】

【大社地域】

【湖陵地域】

口 径	S 52. 11 ～H19. 3	S 56. 4 ～H19. 3	S 57. 11 ～H19. 3
13mm	50, 000	50, 000	60, 000
20mm	130, 000	90, 000	130, 000
25mm	230, 000	160, 000	250, 000
30mm	330, 000	270, 000	—
40mm	710, 000	460, 000	700, 000
50mm	1, 230, 000	800, 000	1, 000, 000
75mm	3, 340, 000	1, 500, 000	市長が別に定める
100mm	6, 820, 000	—	〃
150mm	管理者が 別に定める	—	〃
200mm	〃	—	〃
250mm	〃	—	〃

(単位：円、消費税抜き)

【現在】

口 径	H19. 4 ～
13mm	50, 000
20mm	110, 000
25mm	220, 000
30mm	310, 000
40mm	680, 000
50mm	1, 170, 000
75mm	3, 300, 000
100mm	6, 500, 000
150mm以上	管理者(市長)が別に定める額
備 考	地域ごとに異っていた加入金を統一

(単位：円、消費税抜き)

平成26年度 口径別有収水量と給水収益(上水)

出雲

口径	13	20	25	30	40	50	75
水栓件数	25,381	12,939	1,051	20	342	59	21
調定件数(件)	149,086	75,883	6,159	114	2,002	337	120
水量(m³)	4,311,222	3,222,434	688,092	20,410	920,872	480,365	360,407
料金(円)	657,608,088	471,530,291	115,319,073	3,858,464	170,344,259	94,757,888	71,362,152
供給単価(円、税抜)	152.53	146.33	167.59	189.05	184.98	197.26	198.00

口径	100	150	200	合計
水栓件数	3	1	2	39,819
調定件数(件)	18	6	12	233,737
水量(m³)	167,486	18,238	247,622	10,437,148
料金(円)	33,175,422	3,680,124	49,387,476	1,671,023,237
供給単価(円、税抜)	198.08	201.78	199.45	160.10

平田

口径	13	20	25	30	40	50	75
水栓件数	6,715	1,052	166	29	66	28	10
調定件数(件)	39,863	6,118	997	166	370	168	56
水量(m³)	1,505,906	278,204	90,292	36,412	133,173	107,354	43,477
料金(円)	224,817,072	41,226,813	15,521,520	7,073,526	25,911,408	21,137,358	8,613,091
供給単価(円、税抜)	149.29	148.19	171.90	194.26	194.57	196.89	198.11

口径	100	合計
水栓件数	1	8,067
調定件数(件)	6	47,744
水量(m³)	19,918	2,214,736
料金(円)	3,947,124	348,247,912
供給単価(円、税抜)	198.17	157.24

湖陵

口径	13	20	25	30	40	50	75
水栓件数	1,302	747	22	1	12	7	1
調定件数(件)	7,694	4,379	135	7	73	42	6
水量(m³)	248,656	155,062	24,473	427	50,008	44,090	3,434
料金(円)	37,425,444	23,096,382	4,266,519	77,153	9,782,290	8,730,255	678,132
供給単価(円、税抜)	150.51	148.95	174.34	180.69	195.61	198.01	197.48

口径	合計
水栓件数	2,092
調定件数(件)	12,336
水量(m³)	526,150
料金(円)	84,056,175
供給単価(円、税抜)	159.76

大社

口径	13	20	25	30	40	50	合計
水栓件数	3,827	559	50	17	29	21	4,503
調定件数(件)	22,697	3,186	298	99	170	119	26,569
水量(m³)	664,247	138,358	41,492	44,173	124,440	94,429	1,107,139
料金(円)	102,178,410	20,449,476	7,336,539	8,596,954	23,562,982	18,612,891	180,737,252
供給単価(円、税抜)	153.83	147.80	176.82	194.62	189.35	197.11	163.25

合計

口径	13	20	25	30	40	50	75
水栓件数	37,225	15,297	1,289	67	449	115	32
調定件数(件)	219,340	89,566	7,589	386	2,615	666	182
水量(m³)	6,730,031	3,794,058	844,349	101,422	1,228,493	726,238	407,318
料金(円)	1,022,029,014	556,302,962	142,443,651	19,606,097	229,600,939	143,238,392	80,653,375
供給単価(円、税抜)	151.86	146.62	168.70	193.31	186.90	197.23	198.01

口径	100	150	200	合計
水栓件数	4	1	2	54,481
調定件数(件)	24	6	12	320,386
水量(m³)	187,404	18,238	247,622	14,285,173
料金(円)	37,122,546	3,680,124	49,387,476	2,284,064,576
供給単価(円、税抜)	198.09	201.78	199.45	159.89

10. 給水装置工事申請件数

種別 \ 年度	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)
1. 新 設	302件	408件	280件	275件	197件
2. 改 造	770件	758件	759件	891件	757件
3. 修 繕	75件	65件	108件	85件	78件
4. 撤 去	10件	5件	0件	0件	0件
5. 工事中止	2件	2件	2件	4件	6件
合 計	1,159件	1,238件	1,149件	1,255件	1,038件

11. 水道施設修繕工事件数

種別 \ 年度	平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)
1. 配 水 管	176件	301件	337件	239件	207件
2. 給 水 管	595件	600件	680件	625件	558件
3. その他施設	109件	89件	74件	72件	77件
合 計	880件	990件	1,091件	936件	842件

12. 指定給水装置工事事業者(平成27年3月31日現在)

地域別	出雲 地域	平田 地域	佐田 地域	多伎 地域	湖陵 地域	大社 地域	斐川 地域	市外	合計
指定業者	77社	21社	6社	3社	5社	13社	8社	50社	183社

IV 財務の状況

さあ今日も 水と元気が 蛇口から

平成二十四年度 第五十四回水道週間スローガン

1. 平成26年度(2014)出雲市水道事業会計 決算書

(1)収益的收入及び支出

(単位：円、消費税及び地方消費税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	(うち消費税及び地方消費税)	繰 越 額
営 業 収 益	2,589,408,000	2,566,975,454	(174,703,431)	
営 業 外 収 益	448,105,000	445,073,902	(5,868,094)	
特 別 利 益	200,000	512,964	(16,876)	
収 入 合 計	3,037,713,000	3,012,562,320	(180,588,401)	
営 業 費 用	2,430,407,000	2,322,863,164	(66,188,405)	29,578,000
営 業 外 費 用	234,178,000	216,273,725		
特 別 損 失	112,524,335	109,183,302	(13,728)	
予 備 費	8,300,665	0		
支 出 合 計	2,785,410,000	2,648,320,191	(66,202,133)	29,578,000

(2)資本的收入及び支出

区 分	予 算 額	決 算 額	(うち消費税及び地方消費税)	繰 越 額
企 業 債	335,700,000	229,000,000		
工 事 負 担 金	147,836,000	107,090,085		
他 会 計 負 担 金	3,869,000	17,269,726		
収 入 合 計	487,405,000	353,359,811		
建 設 改 良 費	1,599,294,000	1,229,312,819	(84,899,675)	180,593,000
企 業 債 償 還 金	505,742,000	505,740,750		
予 備 費	1,080,000	0		
支 出 合 計	2,106,116,000	1,735,053,569	(84,899,675)	180,593,000

2. 出雲市水道事業会計 損益計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位：円、消費税及び地方消費税抜 %)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比
営 業 費 用	2,256,674,759	79.8	営 業 収 益	2,392,272,023	84.5
原 水 及 び 浄 水 費	370,316,795	13.1	給 水 収 益	2,284,064,576	80.6
配 水 及 び 給 水 費	459,412,589	16.2	受 託 工 事 収 益	7,592,000	0.3
受 託 工 事 費	14,676,738	0.5	そ の 他 営 業 収 益	100,615,447	3.6
業 務 費	109,424,843	3.9			
総 係 費	139,825,282	4.9	営 業 外 収 益	439,205,949	15.5
減 価 償 却 費	1,121,611,089	39.7	加 入 金	67,130,000	2.4
資 産 減 耗 費	41,407,423	1.5	受 取 利 息 及 び 配 当 金	3,821,696	0.1
			他 会 計 繰 入 金	13,331,722	0.5
営 業 外 費 用	179,312,132	6.3	施 設 分 担 金	6,038,960	0.2
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	166,955,444	5.9	長 期 前 受 金 戻 入	341,216,958	12.0
雑 支 出	12,356,688	0.4	雑 収 益	7,666,613	0.3
特 別 損 失	109,169,574	3.8	特 別 利 益	496,088	0.0
過 年 度 損 益 修 正 損	396,274	0.0	過 年 度 損 益 修 正 益	496,088	0.0
そ の 他 特 別 損 失	108,773,300	3.8			
当 年 度 純 利 益	286,817,595	10.1			
合 計	2,831,974,060	100.0	合 計	2,831,974,060	100.0

3. 出雲市水道事業会計 貸借対照表（平成27年3月31日）

（単位：円、消費税及び地方消費税抜 %）

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比
固 定 資 産	28,900,125,782	93.3	固 定 負 債	8,354,845,193	26.9
有 形 固 定 資 産	28,898,054,357	93.3	企 業 債	8,311,862,193	26.8
土 地	1,760,679,771	5.7	引 当 金	42,983,000	0.1
建 物	1,181,332,799	3.8	流 動 負 債	1,070,709,916	3.5
建 物 附 属 設 備	390,995,786	1.3	企 業 債	409,088,809	1.3
構 築 物	21,039,723,627	67.9	未 払 金	418,958,679	1.4
機 械 及 び 装 置	3,901,088,420	12.6	未 払 費 用	1,972,442	0.0
車 両 運 搬 具	11,781,594	0.0	引 当 金	23,540,736	0.1
工 具 器 具 及 び 備 品	51,777,535	0.2	そ の 他 流 動 負 債	6,321,477	0.0
建 設 仮 勘 定	560,674,825	1.8	仮 受 金	210,827,773	0.7
無 形 固 定 資 産	671,425	0.0	繰 延 収 益	8,366,515,330	27.0
借 地 権	671,425	0.0	（ 負 債 合 計 ）	17,792,070,439	57.4
投 資 そ の 他 の 資 産	1,400,000	0.0	資 本 金	7,126,735,806	23.0
出 資 金	1,400,000	0.0	剰 余 金	6,073,399,794	19.6
流 動 資 産	2,092,080,257	6.7	資 本 剰 余 金	350,917,373	1.1
現 金 預 金	1,656,673,020	5.3	工 事 負 担 金	50,617,002	0.2
未 収 金	374,695,861	1.2	国 庫 補 助 金	103,814,583	0.3
貯 蔵 品	17,464,126	0.1	受 贈 財 産 評 価 額	11,314,447	0.0
前 払 金	42,597,250	0.1	他 会 計 負 担 金	39,470,717	0.1
そ の 他 流 動 資 産	650,000	0.0	他 会 計 補 助 金 等	2,339,385	0.0
			加 入 金	143,361,239	0.5
			利 益 剰 余 金	5,722,482,421	18.5
			減 債 積 立 金	16,195,529	0.1
			建 設 改 良 積 立 金	836,283,733	2.7
			当 年 度 未 処 分 金	4,870,003,159	15.7
			利 益 剰 余 金		
			（ 資 本 合 計 ）	13,200,135,600	42.6
資 産 合 計	30,992,206,039	100.0	負 債 資 本 合 計	30,992,206,039	100.0

4. 財務比率・経営比率

	区 分	算 式	平成26年度（2014）	
1	自 己 資 本 率 構 成 比 率	$\frac{\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}}{\text{総 資 本}} \times 100$	$\frac{13,200,136 \text{千円}}{30,992,206 \text{千円}} \times 100$	42.6 %
2	固 定 資 産 構 成 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{総 資 産}} \times 100$	$\frac{28,900,126 \text{千円}}{30,992,206 \text{千円}} \times 100$	93.2 %
3	固 定 負 債 構 成 比 率	$\frac{\text{固 定 負 債}}{\text{総 資 本}} \times 100$	$\frac{8,354,845 \text{千円}}{30,992,206 \text{千円}} \times 100$	27.0 %
4	長 期 資 本 適 合 率 (固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率)	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資 本 金} + \text{剰 余 金} + \text{固 定 負 債}} \times 100$	$\frac{28,900,126 \text{千円}}{21,554,981 \text{千円}} \times 100$	134.1 %
5	固 定 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}} \times 100$	$\frac{28,900,126 \text{千円}}{13,200,136 \text{千円}} \times 100$	218.9 %
6	流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	$\frac{2,092,080 \text{千円}}{1,070,710 \text{千円}} \times 100$	195.4 %
7	酸 性 試 験 比 率 (当 座 比 率)	$\frac{\text{現 金 預 金} + \text{未 収 金}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$	$\frac{2,031,369 \text{千円}}{1,070,710 \text{千円}} \times 100$	189.7 %
8	負 債 比 率	$\frac{\text{負 債} + \text{借 入 資 本 金}}{\text{自 己 資 本 金} + \text{剰 余 金}} \times 100$	$\frac{17,792,070 \text{千円}}{13,200,136 \text{千円}} \times 100$	134.8 %
9	営 業 未 収 金 比 率	$\frac{\text{営 業 未 収 金}}{\text{営 業 収 益}} \times 100$	$\frac{268,375 \text{千円}}{2,392,272 \text{千円}} \times 100$	11.2 %
10	営 業 未 収 金 回 転 率	$\frac{\text{営 業 収 益}}{\text{平 均 営 業 未 収 金}}$	$\frac{2,392,272 \text{千円}}{261,165 \text{千円}}$	9.16 回
11	総 資 本 回 転 率	$\frac{\text{営 業 収 益} - \text{受 託 工 事 収 益}}{\text{平 均 総 資 本}}$	$\frac{2,384,680 \text{千円}}{31,315,081 \text{千円}}$	0.076 回
12	固 定 資 産 回 転 率	$\frac{\text{営 業 収 益} - \text{受 託 工 事 収 益}}{\text{平 均 有 形 固 定 資 産}}$	$\frac{2,384,680 \text{千円}}{29,053,844 \text{千円}}$	0.082 回

平成25年度 (2013)	平成25 (2013) 規模別全国平均	備考
68.9 %	68.0 %	総資本（負債、資本）に占める自己資本（自己資本金、剰余金）の割合 自己資本は、負債と異なり原則として返済する必要のない資本であり、 この数値が高いほど財政状態が良いといえる。
92.3 %	89.0 %	総資産（固定資産、流動資産、繰延勘定）に占める固定資産の割合 一般にこの数値が低いほうが柔軟な経営が可能になるが、水道事業は 施設型の企業であり、数値が高くならざるを得ない。
28.4 %	30.0 %	総資本に占める固定負債の割合 資本のうち固定負債、借入資本金への依存度を示す指標であり、自己資本 構成比率とは逆の傾向を示す。
94.9 %	90.8 %	固定資産がどの程度長期の資本で調達されているかを示す比率 この数値は100%以下で低いことが望ましい。100%を上回るとは、 不良債務発生を意味し警戒しなければならない。
134.0 %	130.9 %	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを示す比率 この数値は100%以下であることが望ましいが、水道事業では建設改良の財 源を企業債に依存する度合いが高いので、必然的にこの数値が高くなる。
288.5 %	554.5 %	短期債務に対する支払能力を示す比率 一般にこの数値が200%以上ならば安全といわれており、100%を下回れば 不良債務が発生していることになる。
266.9 %	496.6 %	短期債務に対する直接的な支払能力を示す比率 この数値は100%以上で高いほうが良い。支払手段として現金預金のほかに 未収金も含むために未収金回転率と併せて分析する必要がある。
45.1 %	47.0 %	自己資本と他人資本（負債、借入資本金）の関係を示す比率 他人資本は自己資本を限度とすべきと考えれば、この数値は100%以下で あることが望ましい。
10.5 %	13.3 % [その他未収金を含む]	営業収益のうち、年度末における営業未収金の割合
9.50 回	7.51 回 [その他未収金を含む]	平均営業未収金は、期首と期末の営業未収金の平均により算出した。 この数値は営業未収金の回収速度を示し、高いほうが良い。
0.077 回	0.087 回	平均総資本は、期首と期末の総資本額の平均により算出した。 総資本に対する営業収益の割合であり、この数値が高いほど投下資本に 比して営業活動が活発であることを意味する。
0.083 回	0.097 回	平均有形固定資産は、期首と期末の有形固定資産の平均により算出した。 固定資産がどの程度営業活動に利用されているかを示す指標。この数値 が高いほど施設が有効に稼働しているといえる。

	区 分	算 式	平成26年度（2014）	
13	総 資 本 利 益 率	$\frac{\text{当 年 度 純 利 益}}{\text{平 均 総 資 本}} \times 100$	$\frac{286,818 \text{千円}}{31,315,081 \text{千円}} \times 100$	0.92 %
14	総 収 支 比 率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$	$\frac{2,831,974 \text{千円}}{2,545,156 \text{千円}} \times 100$	111.3 %
15	経 常 収 支 比 率	$\frac{\text{経 常 収 益}}{\text{経 常 費 用}} \times 100$	$\frac{2,831,478 \text{千円}}{2,435,987 \text{千円}} \times 100$	116.2 %
16	営 業 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費}} \times 100$	$\frac{2,384,680 \text{千円}}{2,241,998 \text{千円}} \times 100$	106.4 %
17	利 子 負 担 率 （有利子負債比率）	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{平 均 有 利 子 負 債}} \times 100$	$\frac{166,955 \text{千円}}{8,859,321 \text{千円}} \times 100$	1.88 %
18	企 業 債 償 還 金 対 減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 金}}{\text{減 価 償 却 費}} \times 100$	$\frac{505,741 \text{千円}}{1,121,611 \text{千円}} \times 100$	45.1 %
19	企 業 債 償 還 金 対 企 業 債 償 還 金 対 料 金 収 入 比 率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 金}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{505,741 \text{千円}}{2,284,065 \text{千円}} \times 100$	22.1 %
20	企 業 債 利 息 対 企 業 債 利 息 対 料 金 収 入 比 率	$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{166,955 \text{千円}}{2,284,065 \text{千円}} \times 100$	7.3 %
21	減 価 償 却 費 対 減 価 償 却 費 対 料 金 収 入 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{1,121,611 \text{千円}}{2,284,065 \text{千円}} \times 100$	49.1 %
22	職 員 給 与 費 対 職 員 給 与 費 対 料 金 収 入 比 率	$\frac{\text{職員給与費}-\text{受託工事費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{242,145 \text{千円}}{2,284,065 \text{千円}} \times 100$	10.6 %
23	有 形 固 定 資 産 対 減 価 償 却 率	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}} \times 100$	$\frac{18,198,590 \text{千円}}{44,775,289 \text{千円}} \times 100$	40.6 %
24	資 本 単 価 （1 m ³ 当たり資本費）	$\frac{\text{減価償却費}+\text{企業債利息}}{\text{総 有 収 水 量}}$	$\frac{1,288,567 \text{千円}}{14,285 \text{千 m}^3}$	90.2 円

平成25年度 (2013)	平成25 (2013) 規模別全国平均	備考
% 0.60	% 0.89 [経常収支赤字団体含まず]	総資本の収益性、効率性を示す比率 投下した総資本に対する利益率であり、この数値が高いほど事業の収益性が良いといえる。
% 108.1	% 108.3 [経常収支赤字団体含まず]	企業の収益性を示す比率 この比率は、損益計算上総収益で総費用をまかなえるかを示し、数値が100%以上で高いほうが利益率が良い。
% 108.3	% 110.7 [経常収支赤字団体含まず]	企業の経常的な活動における収益性を示す比率 この数値が100%以上で高いほうが利益率が良い。
% 113.2	% 113.8 [経常収支赤字団体含まず]	企業の主たる営業活動における収益性を示す比率 この数値が100%以上で高いほうが利益率が良く、健全経営といえる。
% 1.89	% 3.08	利子負担の程度を示す指標。平均有利子負債（企業債、他会計借入金、一時借入金）は、期首と期末の平均で算出した。この数値が低いほうが、低利の借入金を利用しているといえる。
% 30.0	% 50.3	減価償却費に対する企業債償還金の割合 内部留保資金である減価償却費で、企業債償還元金をまかなえるかを示す。また、投下資本の回収と再投資のバランスを見ることもできる。
% 13.6	% 18.8	水道料金収入に対する企業債償還金の割合 企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因になっているかを示し、この数値が低いほうが良い。
% 7.4	% 7.4	水道料金収入に対する企業債利息の割合 企業債の支払利息がどの程度経営の圧迫要因になっているかを示し、この数値が低いほうが良い。
% 45.5	% 37.4	水道料金収入に対する減価償却費の割合
% 10.4	% 10.5	水道料金収入に対する職員給与費の割合 職員給与費は、受託工事費勘定、資本勘定所属職員分を除く。
% 38.3	% 41.5	有形固定資産の減価償却の割合 この比率により減価償却の進み具合や、資産の老朽化の度合を計ることができる。数値が高いほど資産取得後の年数が経過しているといえる。
円 84.7	円 75.8	有収水量 1 m ³ 当たりの企業債利息及び減価償却費の額

	区 分	算 式	平成26年度（2014）	
25	負 荷 率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	$\frac{42,858\text{m}^3}{47,945\text{m}^3} \times 100$	% 89.4
26	最 大 稼 働 率	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	$\frac{47,945\text{m}^3}{69,859\text{m}^3} \times 100$	% 68.6
27	施 設 利 用 率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	$\frac{42,858\text{m}^3}{69,859\text{m}^3} \times 100$	% 61.3
28	配 水 管 使 用 効 率	$\frac{\text{総配水量}}{\text{導水管} + \text{送水管} + \text{配水管延長}}$	$\frac{15,643\text{千m}^3}{1,446\text{千m}}$	m ³ /m 10.8
29	固 定 資 産 使 用 効 率	$\frac{\text{総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	$\frac{15,643\text{千m}^3}{28,898,054\text{千円}}$	m ³ /万円 5.41
30	職 員 1 人 当 り 給 水 人 口	$\frac{\text{給水人口}}{\text{職員数}}$	$\frac{130,926\text{人}}{30\text{人}}$	人 4,364
31	職 員 1 人 当 り 給 水 量	$\frac{\text{総有収水量}}{\text{職員数}}$	$\frac{14,285,173\text{m}^3}{30\text{人}}$	m ³ 476,172
32	職 員 1 人 当 り 営 業 収 益	$\frac{\text{営業収益}}{\text{職員数}}$	$\frac{2,392,272\text{千円}}{30\text{人}}$	千円 79,742

平成25年度 (2013)	平成25 (2013) 規模別全国平均	備考
% 88.7	% 87.8	施設の効率性を分析する比率 この数値が高いほど効率的である。季節的な需要変動が大きいと施設効率 は悪くなり、負荷率が小となる。
% 80.7	% 72.6	計画に対する施設効率を分析する比率 平成26年度の一日最大配水量は47,945m ³ であった。
% 71.5	% 63.7	水道施設の経済性を総括的に分析する比率 この数値が高いほど効率的で経済的である。 なお、負荷率、最大稼働率と併せて適切な施設規模を考察する。
m ³ /m 11.0	m ³ /m 20.1	導水管、送水管、配水管の効率性を分析する指標 水道管の布設延長に対する配水量の割合であり、この数値が高いほど良い。 給水区域の人口密度によって影響を受ける。
m ³ /万円 5.45	m ³ /万円 7.41	水道施設の効率性を分析する指標 有形固定資産に対する配水量の割合であり、この数値が高いほど効率的で あるといえる。
人 4,350	人 4,490	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について給水人口で比較する。 職員数は損益勘定所属職員で、平成26年度は30人である。
m ³ 485,692	m ³ 520,358	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について給水量で比較する。
千円 80,960	千円 78,653	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について営業収益で比較する。

* 地方公営企業会計基準の見直しにより、平成26年度は新たな会計基準を適用して数値を算出している。

* 規模別全国平均は給水人口10万人以上16万人未満で地下水、伏流水を主な水源とする事業体の平均値

5. 給水原価及び供給単価算出図(平成26年度決算)

(単位：円、消費税及び地方消費税抜)

給 水 収 益 2,284,064,576	給 水 収 益 に 対 す る 費 用 2,421,310,153	営 業 外 費 用	・ 総配水量
		179,312,132	15,643,051 m ³
		資 産 減 耗 費	・ 有収水量
		41,407,423	14,285,173 m ³
		減 価 償 却 費	・ 有 収 率
		1,121,611,089	91.32%
		業 務 費	
		109,424,843	
		総 係 費	
		139,825,282	
		直 接 給 水 費 用 829,729,384	原 水 ・ 浄 水 費
			370,316,795
			配 水 ・ 給 水 費
			459,412,589

1m ³ 当たり 単価	年間有収水量に対し 159円89銭 供給単価 (販売価格)	年間有収水量に対し 169円50銭 給水原価 (販売原価)	年間総配水量に対し 154円79銭 総原価	年間総配水量に対し 53円04銭 直接給水原価
---------------------------	--	--	-----------------------------	-------------------------------

* 給水収益に対する費用

総費用 受託工事費 特別損失

$$2,545,156,465 - (14,676,738 + 109,169,574) = 2,421,310,153$$

V 簡易水道事業

蛇口から
あふれるぼくらの
夢・未来

平成二十三年度 第五十三回水道週間スローガン

平成26年度(2014)業務量

地域 項目		説明	乙立	河下広域	猪目	塩津	美保	島村	東部統合	須佐	窪田	多伎	日御碕	鷺浦	阿宮	簡水計	多久谷畑 (飲供)
行政区域内人口(A)		人 年度末の行政 区域人口	678	2,163	72	162	95	365	1,588	1,877	1,765	3,690	732	233	514	13,934	29
計画給水人口(B)		人 認可事業計画 の給水人口	900	3,550	400	300	177	406	1,870	2,050	2,400	4,460	840	1,300	720	19,373	26
給水区域内人口(C)		人 年度末の給水 区域内人口	678	2,163	72	162	95	365	1,588	1,816	1,751	3,671	616	233	514	13,724	29
給水人口(D)		人 (C)－(給水区域内 の未給水人口)	662	2,154	72	162	95	365	1,573	1,780	1,735	3,671	615	233	514	13,631	29
普及 率	行政区域内普及率	% $\frac{(D)}{(A)}$	98	100	100	100	100	100	99	95	98	99	84	100	100	98	100
	給水区域内普及率	% $\frac{(D)}{(C)}$	98	100	100	100	100	100	99	98	99	100	100	100	100	99	100
給水戸数		戸 年度末の給水 中世帯数	211	697	33	65	33	100	555	557	603	1,345	220	128	154	4,701	7
年間配水量(E)		m³ 配水池から送出 した年間水量	58,840	258,967	3,995	11,721	8,775	33,694	158,727	223,311	189,312	531,350	82,928	27,878	47,455	1,636,953	1,421
1日平均配水量		m³ $\frac{(E)}{(\text{年間日数})}$	161	709	11	32	24	92	435	612	519	1,456	227	76	130	4,485	4
1日最大配水量(F)		m³ 1日配水量 実績の最大値	283	1,108	28	45	42	151	552	857	626	1,796	371	168	260	6,287	7
1人1日平均配水量		ℓ $\frac{(E)-(年間分水量)}{(D) \times (\text{年間日数})}$	244	329	152	198	253	253	276	344	299	389	369	328	253	329	134
1人1日最大配水量		ℓ $\frac{(F)-(当日の分水量)}{(D)}$	427	514	389	278	442	414	351	481	361	481	603	721	506	461	241
年間給水量(G) (年間有収水量)		m³ 水道料金収入の対象 となった年間水量	53,776	190,948	3,913	11,721	8,524	31,264	125,693	167,642	151,173	442,212	79,526	19,486	37,232	1,323,110	1,349
有収率		% $\frac{(G)}{(E)}$	91	74	98	100	97	93	79	75	80	83	96	70	78	81	95
1日平均有収水量		m³ $\frac{(G)}{(\text{年間日数})}$	147	523	11	32	23	86	344	459	414	1,212	218	53	102	3,625	4
1人1日平均使用水量		ℓ $\frac{(\text{家事用有収水量})}{(D) \times (\text{年間日数})}$	197	221	159	189	243	228	205	205	196	226	187	212	198	211	128

VI 組織

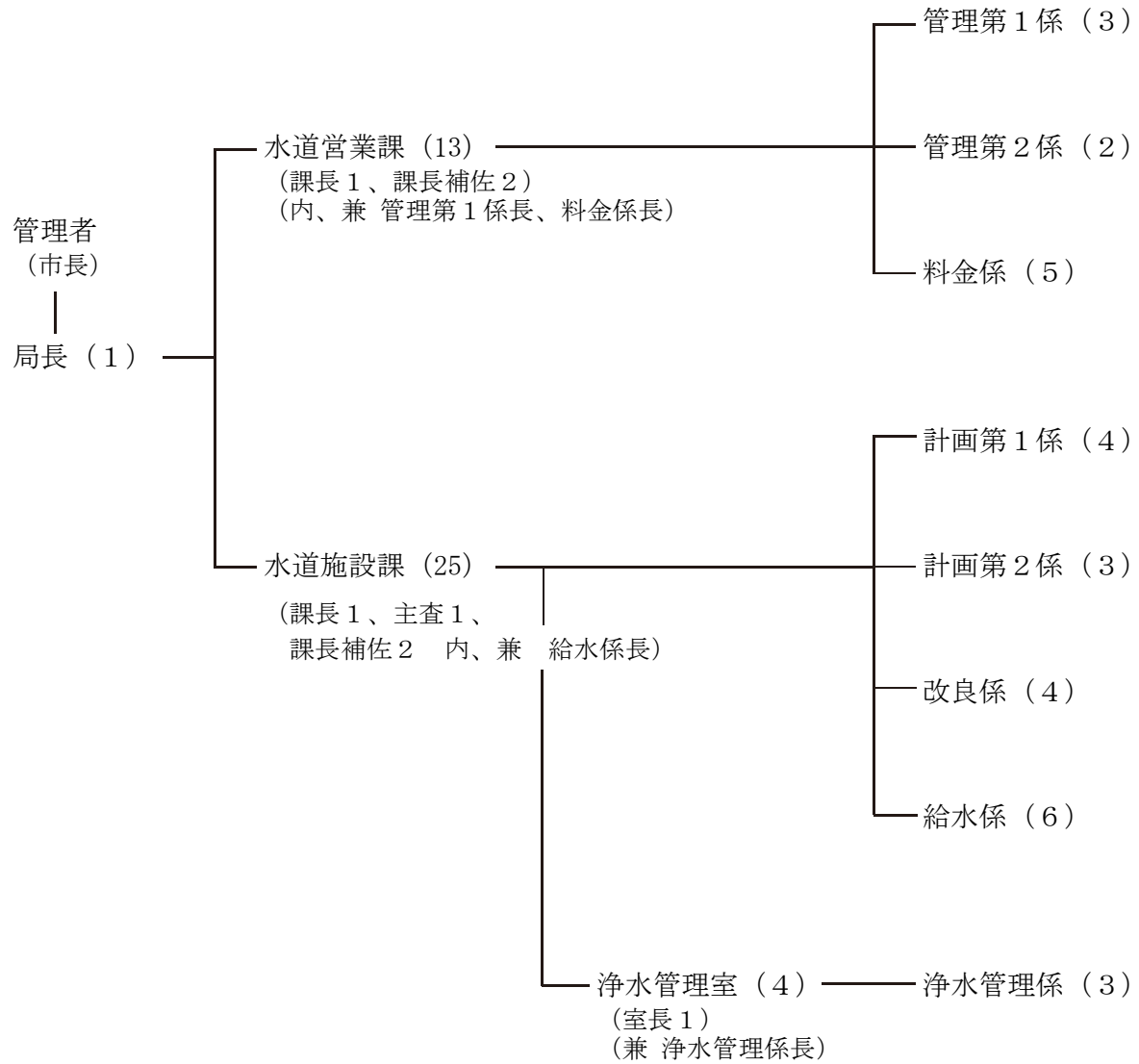
水道に 寄せる信頼 飲む安心

平成二十二年度 第五十二回水道週間スローガン

1. 機構図

平成27年（2015）4月1日現在

上下水道局（39）



2. 事務分掌

<水道営業課>

管理第1係

- (1) 上水道事業の総合計画及び事業計画に関すること。
- (2) 市議会提出議案に関すること。
- (3) 上水道事業の条例、規程その他法令に関すること。
- (4) 公印の管守に関すること。
- (5) 上水道事業の文書の収受に関すること。
- (6) 人事、給与及び労務に関すること。
- (7) 職員の研修及び教養に関すること。
- (8) 職員の福利厚生に関すること。
- (9) 上水道事業の予算及び決算に関すること。
- (10) 上水道事業の資金計画に関すること。
- (11) 上水道事業の国庫支出金、企業債及び一時借入金に関すること。
- (12) 上水道事業の資産の取得及び処分に関すること。
- (13) 上水道事業の現金及び有価証券の出納保管に関すること。
- (14) 工事の入札及び契約に関すること。
- (15) 指名願い及び指定給水装置工事業者に関すること。
- (16) 入札参加資格審査に関すること。
- (17) 諸資材、物品等の購入契約に関すること。
- (18) 上水道事業の貯蔵品の出納保管に関すること。
- (19) 上水道事業の会計経理に関すること。
- (20) 各種統計調査に関すること。
- (21) 庁舎の管理、庁中の取締及び当直に関すること。
- (22) 市町村職員共済組合に関すること。
- (23) 個人情報の管理に関すること。
- (24) 水道料金等審議会に関すること。
- (25) 局内（水道事業に限る。）の庶務に関すること。
- (26) 課内の庶務に関すること。
- (27) 災害対策に関すること。
- (28) 分水及び受水に関すること。
- (29) 車両の管理に関すること。

管理第2係

- (1) 簡易水道（飲料水供給事業を含む。以下同じ。）の総合計画及び事業計画に関すること。
- (2) 簡易水道の条例、規則その他法令に関すること。
- (3) 簡易水道に関する文書の収受に関すること。
- (4) 簡易水道の予算及び決算に関すること。

- (5) 簡易水道の国庫支出金、起債及び一時借入金に関する事。
- (6) 簡易水道の資産の取得及び処分に関する事。
- (7) 簡易水道の会計経理に関する事。
- (8) 簡易水道の調定に関する事。
- (9) 簡易水道に関する各種届出等に関する事。

料 金 係

- (1) 水道料金（全ての水道事業の料金をいう。ただし、斐川地域を除く。以下同じ。）の調定に関する事。
- (2) 水道料金の納入通知書の作成及び発送に関する事。
- (3) 水道料金の徴収又は督促に関する事。
- (4) 水道料金の収納に関する事。
- (5) 水道料金の軽減又は免除に関する事。
- (6) 検針データの処理に関する事。
- (7) 料金システムの管理運用に関する事。
- (8) 使用水量の認定に関する事。
- (9) 給水の開始及び中止の受付に関する事。
- (10) 公共下水道使用料、農業集落排水施設使用料、漁業集落排水施設使用料、小規模集合排水施設使用料及び浄化槽施設使用料（以下「下水道使用料等」という。）の徴収等に関する事。（ただし、斐川地域を除く。）
- (11) 広報及びホームページに関する事。

<水道施設課>

計画第1係

- (1) 上水道事業の基本計画及び事業認可に関する事。
- (2) 上水道施設の拡張及び改良工事に関する事。
- (3) 上水道の水道施設台帳整備に関する事。

計画第2係

- (1) 簡易水道事業の基本計画及び事業認可に関する事。
- (2) 簡易水道施設の拡張及び改良工事に関する事。
- (3) 簡易水道の水道施設台帳整備に関する事。

改良係

- (1) 上水道施設の支障移転等に関する事。
- (2) 簡易水道施設の支障移転等に関する事。

給水係

- (1) 配水施設及び給水施設の維持管理に関する事。
- (2) 有収率に関する事。
- (3) 水質等苦情処理に関する事。
- (4) 給水に関する諸届の受付処理に関する事。

- (5) 給水施設台帳の整備に関する事。
- (6) 給水装置工事にに関する事。
- (7) 水道メーターの管理及び取替修理に関する事。
- (8) 専用水道、簡易専用水道及び小規模貯水水道に関する事。
- (9) 管路図面の整備に関する事。

<浄水管理室>

浄水管理係

- (1) 水質の保全及び水質検査に関する事。
- (2) 水道施設（配水施設を除く。）の運転と維持管理に関する事。
- (3) 電気及び計装設備に関する事。

<平田営業所>

- (1) 水道料金、下水道使用料等の徴収及び督促に関する事。
- (2) 水道料金、下水道使用料等の軽減又は免除に関する事。
- (3) 検針データの処理に関する事。
- (4) 使用水量の認定に関する事。
- (5) 給水の開始、中止の受付、水道メーターの管理及び取替等に関する事。
- (6) 水道施設の拡張及び改良工事にに関する事。
- (7) 水道施設の支障移転等に関する事。
- (8) 水道施設台帳の整備に関する事。
- (9) 給水施設台帳の整備に関する事。
- (10) 給水装置の維持管理に関する事。
- (11) 給水に関する諸届の受付に関する事。
- (12) 水道施設の運転と維持管理に関する事。
- (13) 有収率に関する事。
- (14) 水質の保全及び水質検査に関する事。
- (15) 災害対策に関する事。
- (16) 営業所の所管に係る用地の買収、借入れ及び補償に関する事。
- (17) 水道事業に係る局との連絡及び地元調整に関する事。
- (18) 管路図面の整備に関する事。

<河南営業所>

- (1) 水道料金、下水道使用料等の徴収及び督促に関する事。
- (2) 水道料金、下水道使用料等の軽減又は免除に関する事。
- (3) 検針データの処理に関する事。
- (4) 使用水量の認定に関する事。
- (5) 給水の開始、中止の受付、水道メーターの管理及び取替等に関する事。

- (6) 水道施設の拡張及び改良工事に関すること。
- (7) 水道施設の支障移転等に関すること。
- (8) 水道施設台帳の整備に関すること。
- (9) 給水施設台帳の整備に関すること。
- (10) 給水装置の維持管理に関すること。
- (11) 給水に関する諸届の受付に関すること。
- (12) 水道施設の運転と維持管理に関すること。
- (13) 有収率に関すること。
- (14) 水質の保全及び水質検査に関すること。
- (15) 災害対策に関すること。
- (16) 営業所の所管に係る用地の買収、借入れ及び補償に関すること。
- (17) 水道事業に係る局との連絡及び地元調整に関すること。
- (18) 施設分担金の賦課及び徴収に関すること。
- (19) 管路図面の整備に関すること。

<斐川営業所>

- (1) 簡易水道料金の賦課、徴収、減免等に関すること。
- (2) 簡易水道の給水に関する諸届に関すること。
- (3) 簡易水道施設の維持管理に関すること。
- (4) 簡易水道施設の台帳整理に関すること。
- (5) 簡易水道組合に関すること。
- (6) 簡易水道事業の計画・設計・積算・施工管理に関すること。

3. 職員配置表（平成27年4月1日現在）

（単位：人）

所属別	職員数	事務	技術	補職名									
				局長	課長	主査	課長補佐	室長	係長	主任	主任技師	主事	技師
総数	39	21	18	1	2	1	4	1	4(4)	11	9	4	2
局長	1	1		1									
水道営業課	13	13			1		2		1(2)	7		2	
管理第1係	3(1)	3(1)							(1)	2		1	
管理第2係	2	2							1	1			
料金係	5(1)	5(1)							(1)	4		1	
水道施設課	21	6	15		1	1	2		3(1)	3	7	2	2
計画第1係	4	1	3						1		2	1	
計画第2係	3		3						1		1		1
改良係	4		4						1		3		
給水係	6(1)	4(1)	2						(1)	3	1	1	1
浄水管理室	4	1	3					1	(1)	1	2		
浄水管理係	3(1)	1	2						(1)	1	2		

（ ）内は兼務職員再掲

4. 年齢別職員構成（平成27年4月1日現在）

区 分 年 齢 別	事 務	技 術	合 計	構 成 比
20才未満	0 人	0 人	0 人	0.0 %
20才以上～25才未満	0	0	0	0.0
25 〃 ～30 〃	0	1	1	2.6
30 〃 ～35 〃	1	0	1	2.6
35 〃 ～40 〃	5	1	6	15.4
40 〃 ～45 〃	7	6	13	33.3
45 〃 ～50 〃	2	4	6	15.4
50 〃 ～55 〃	3	1	4	10.3
55 〃	3	5	8	20.5
合 計	21	18	39	100.0
平 均 年 齢	45歳0月	47歳1月	45歳10月	

5. 勤続年数別職員構成（平成27年4月1日現在）

区 分 年 数 別	事 務	技 術	合 計	構 成 比
1年未満	0 人	1 人	1 人	2.6 %
1年以上～3年未満	0	0	0	0.0
3 〃 ～5 〃	0	0	0	0.0
5 〃 ～10 〃	0	0	0	0.0
10 〃 ～15 〃	5	1	6	15.4
15 〃 ～20 〃	3	5	8	20.5
20 〃 ～25 〃	4	1	5	12.8
25 〃 ～30 〃	3	6	9	23.1
30 〃 ～35 〃	4	1	5	12.8
35 〃	2	3	5	12.8
合 計	21	18	39	100.0
平 均 勤 続 年 数	19年9月	21年2月	20年5月	

*市職員としての通算勤続年数

水道事業年報（平成 27 年度版）

編集 出雲市上下水道局
出雲市姫原 2 丁目 9 - 1
電話(0853)-21-3511（代）

平成 27 年（2015）11 月発行

